

国府小学校特別教室等空調設備整備工事

I

建築改修工事仕様書

質問回答書、現場説明書、特記仕様書及び図面に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築改修工事標準仕様書（最新版）」（以下「改標仕」という。）、 「公共建築工事標準仕様書（最新版）」 （以下「標仕」という。）及び国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「建築物解体工事共通仕様書(最新版)」（以下「解体共仕」という。）による。

特記事項

項目は、番号に○印の付いたものを適用する。
特記事項は、○印の付いたものを適用する。
○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。
○印とⓈ印が付いている場合は、共に適用する。
特記事項欄の行末に記載の（ ）内表示番号は、木標仕の該当事項又は該当表を示す。

章	項 目	特 記 事 項																													
I	① 適用基準等	◎ 建築工事標準詳細図 国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課監修 (最新版) ※ 工事写真の撮り方 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 (最新版) ◎ 公共建築工事標準仕様書 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 (最新版) ◎ 公共建築改修工事標準仕様書 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 (最新版) 工事期限より_____日前 (1.1.2)(1.2.1) ・電気主任技術者 ※ 監督職員の承諾を受けた者 (1.3.3)																													
	2 概成工期																														
	3 電気保安技術者																														
	④ 発生材の処理等	<table><tr><th>種 別</th><th>対 象 品 目</th></tr><tr><td>◎ 発注者へ引渡しを要するもの</td><td>※ PCB含有機器類 ※ PCB含有ｼｰﾘﾝｸﾞ材 ※ 微量PCB ・協議が必要な場合</td></tr><tr><td>◎ 再利用を図るもの</td><td>※ コンクリート塊 ※ 建設混合廃棄物 ・ 硬質ポリ塩化ビニル管・継手</td></tr><tr><td>・再資源化を図るもの(注1)</td><td>※ ﾏｽﾌｧﾙﾄ･ｺﾝｸﾘｰﾄ塊 ※ 金属類 ・ ガラス</td></tr><tr><td></td><td>※ 建設発生木材 ※ 小形二次電池</td></tr><tr><td></td><td>※ 建設汚泥 ・ 蛍光ランプ・HIDランプ</td></tr><tr><td>・処理に注意を要するもの</td><td>・ ひ素・カドミウム含有せっこうボード ・ せっこうボード</td></tr><tr><td></td><td>・ 0.1%を超えて石綿を含有するもの</td></tr><tr><td></td><td>・ CCA処理木材</td></tr><tr><td>・特別管理産業廃棄物</td><td>・ 廃石棉(除去作業に使用した保護具及び養生材を含む) ・ 廃酸、廃アルカリ</td></tr><tr><td></td><td>・ ダイオキシシン含有廃棄物 ・ 廃油</td></tr><tr><td>・特殊な建設副産物</td><td>・ フロン ・ ハロゲン ・ 特定化学物質（ ）</td></tr><tr><td></td><td>・ 煙感知器(イオン化式) ・ 六フッ化硫黄(SF6)ガス ・ PFOS</td></tr></table> (注1) 上記以外の廃棄物についても、可能な限り再資源化に努めること。	種 別	対 象 品 目	◎ 発注者へ引渡しを要するもの	※ PCB含有機器類 ※ PCB含有ｼｰﾘﾝｸﾞ材 ※ 微量PCB ・協議が必要な場合	◎ 再利用を図るもの	※ コンクリート塊 ※ 建設混合廃棄物 ・ 硬質ポリ塩化ビニル管・継手	・再資源化を図るもの(注1)	※ ﾏｽﾌｧﾙﾄ･ｺﾝｸﾘｰﾄ塊 ※ 金属類 ・ ガラス		※ 建設発生木材 ※ 小形二次電池		※ 建設汚泥 ・ 蛍光ランプ・HIDランプ	・処理に注意を要するもの	・ ひ素・カドミウム含有せっこうボード ・ せっこうボード		・ 0.1%を超えて石綿を含有するもの		・ CCA処理木材	・特別管理産業廃棄物	・ 廃石棉(除去作業に使用した保護具及び養生材を含む) ・ 廃酸、廃アルカリ		・ ダイオキシシン含有廃棄物 ・ 廃油	・特殊な建設副産物	・ フロン ・ ハロゲン ・ 特定化学物質（ ）		・ 煙感知器(イオン化式) ・ 六フッ化硫黄(SF6)ガス ・ PFOS			
種 別	対 象 品 目																														
◎ 発注者へ引渡しを要するもの	※ PCB含有機器類 ※ PCB含有ｼｰﾘﾝｸﾞ材 ※ 微量PCB ・協議が必要な場合																														
◎ 再利用を図るもの	※ コンクリート塊 ※ 建設混合廃棄物 ・ 硬質ポリ塩化ビニル管・継手																														
・再資源化を図るもの(注1)	※ ﾏｽﾌｧﾙﾄ･ｺﾝｸﾘｰﾄ塊 ※ 金属類 ・ ガラス																														
	※ 建設発生木材 ※ 小形二次電池																														
	※ 建設汚泥 ・ 蛍光ランプ・HIDランプ																														
・処理に注意を要するもの	・ ひ素・カドミウム含有せっこうボード ・ せっこうボード																														
	・ 0.1%を超えて石綿を含有するもの																														
	・ CCA処理木材																														
・特別管理産業廃棄物	・ 廃石棉(除去作業に使用した保護具及び養生材を含む) ・ 廃酸、廃アルカリ																														
	・ ダイオキシシン含有廃棄物 ・ 廃油																														
・特殊な建設副産物	・ フロン ・ ハロゲン ・ 特定化学物質（ ）																														
	・ 煙感知器(イオン化式) ・ 六フッ化硫黄(SF6)ガス ・ PFOS																														
⑤ 材料の品質等	1. 本工事に使用する材料・機材等のうち、特定のものが特記された場合は、設計図書に規定するもの又はこれらと同等以上の (1.4.2)ものとする。ただし、同等以上のものである場合は、あらかじめ監督職員の承諾を受ける。 2. 「評価名簿による」と特記されたものについては、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「建築材料・設備機材等品質性能評価事業建築材料等評価名簿(最新版)」による。 3. 本県に本社、支店、営業所を有するメーカー製品を使用すること。 4. 化学物質を放散する建築材料等 1) 建材・施工材の使用材料の選定においては、ホルムアルデヒド及び揮発性有機化合物を放散しないか、放散が十分少ないものをJISまたはJAS等を参考に適切に選択すること。ホルムアルデヒド放散量はF☆☆☆☆を原則とし、該当する材料等がない場合は、施工面積に十分注意した上でF☆☆☆を使用する。 2) 接着剤はホルムアルデヒド及び揮発性有機化合物を放散しないか、発散が極めて少ないもの、または含有量が少なく難揮発性の可塑剤を使用しているものとし、ホルムアルデヒド放散量はF☆☆☆☆を原則とする。 3) 仕上塗材、塗料、シーリング材、接着剤その他の化学製品の選択及び取扱いに当たっては、当該製品の製造所が作成した化学物質等安全データシートの内容を把握するとともに、現場に常備し、記載内容の周知徹底を図ること。 4) 施工中、接着剤・塗料等の塗布に当たっては、使用方法や塗布量を十分に管理し、適切な乾燥時間をとること。また、施工中、施工後の通風、換気を十分にを行い、室内に放散した溶剤成分等の希釈を図ること。 5. 本工事に使用する材料については、JIS Z 7253（GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法ーラベル，作業場内の表示及び安全データシート（SDS））による安全データシート（SDS）等により確認を行い、アスベスト含有建材を使用しない。																														
6 技能士	<table><tr><th>工 事 種 別</th><th>技能検定職種</th><th>技能検定作業</th></tr><tr><td>・仮設工事</td><td>とび</td><td>とび作業</td></tr><tr><td>・防水改修工事</td><td>防水施工</td><td>アスファルト防水工事作業 ウレタンゴム系塗膜防水工事作業 アクリルゴム系塗膜防水工事作業 合成ゴムシート防水工事作業 塩化ビニルシート防水工事作業 セメント系防水工事作業 シーリング防水工事作業 改質アスファルトシートトーチ工法防水工事作業 FRP防水工事作業</td></tr><tr><td>・外壁改修工事</td><td></td><td>左官(左官作業) ・タイル張り(タイル張り作業) 樹脂接着剤注入施工(樹脂接着剤注入工事作業) 塗装(建築塗装作業)</td></tr><tr><td>・建具改修工事</td><td></td><td>サッシ施工（ビル用サッシ施工作業） ガラス施工（ガラス工事作業） 自動ドア施工（自動ドア施工作業）</td></tr><tr><td>・内装改修工事</td><td></td><td>内装仕上施工（・プラスチック系床仕上工事作業 カーペット系床仕上作業 ボード仕上工事作業 鋼製下地工事作業） 表装（壁装作業）</td></tr><tr><td>・塗装改修工事</td><td></td><td>塗装（建築塗装作業）</td></tr><tr><td>・排水工事</td><td>配管</td><td>建築配管作業</td></tr><tr><td>・舗装工事</td><td>路面表示施工</td><td>溶融ペイントハンドマーカー工事作業 加熱ペイントマシンマーカー作業</td></tr><tr><td>・植栽工事</td><td>造園</td><td>造園工事作業</td></tr></table> (1.5.2)	工 事 種 別	技能検定職種	技能検定作業	・仮設工事	とび	とび作業	・防水改修工事	防水施工	アスファルト防水工事作業 ウレタンゴム系塗膜防水工事作業 アクリルゴム系塗膜防水工事作業 合成ゴムシート防水工事作業 塩化ビニルシート防水工事作業 セメント系防水工事作業 シーリング防水工事作業 改質アスファルトシートトーチ工法防水工事作業 FRP防水工事作業	・外壁改修工事		左官(左官作業) ・タイル張り(タイル張り作業) 樹脂接着剤注入施工(樹脂接着剤注入工事作業) 塗装(建築塗装作業)	・建具改修工事		サッシ施工（ビル用サッシ施工作業） ガラス施工（ガラス工事作業） 自動ドア施工（自動ドア施工作業）	・内装改修工事		内装仕上施工（・プラスチック系床仕上工事作業 カーペット系床仕上作業 ボード仕上工事作業 鋼製下地工事作業） 表装（壁装作業）	・塗装改修工事		塗装（建築塗装作業）	・排水工事	配管	建築配管作業	・舗装工事	路面表示施工	溶融ペイントハンドマーカー工事作業 加熱ペイントマシンマーカー作業	・植栽工事	造園	造園工事作業
工 事 種 別	技能検定職種	技能検定作業																													
・仮設工事	とび	とび作業																													
・防水改修工事	防水施工	アスファルト防水工事作業 ウレタンゴム系塗膜防水工事作業 アクリルゴム系塗膜防水工事作業 合成ゴムシート防水工事作業 塩化ビニルシート防水工事作業 セメント系防水工事作業 シーリング防水工事作業 改質アスファルトシートトーチ工法防水工事作業 FRP防水工事作業																													
・外壁改修工事		左官(左官作業) ・タイル張り(タイル張り作業) 樹脂接着剤注入施工(樹脂接着剤注入工事作業) 塗装(建築塗装作業)																													
・建具改修工事		サッシ施工（ビル用サッシ施工作業） ガラス施工（ガラス工事作業） 自動ドア施工（自動ドア施工作業）																													
・内装改修工事		内装仕上施工（・プラスチック系床仕上工事作業 カーペット系床仕上作業 ボード仕上工事作業 鋼製下地工事作業） 表装（壁装作業）																													
・塗装改修工事		塗装（建築塗装作業）																													
・排水工事	配管	建築配管作業																													
・舗装工事	路面表示施工	溶融ペイントハンドマーカー工事作業 加熱ペイントマシンマーカー作業																													
・植栽工事	造園	造園工事作業																													
⑦ 特別な材料の工法	木標仕に記載されていない特別な材料の工法は、材料製造所の指定する工法とする。																														
⑧ 施工中の環境保全等	施工に使用する建設機械は、低騒音型・低振動型及び排ガス対策型建設機械とすること。																														

章	項 目	特 記 事 項																													
II	9 化学物質の濃度測定	工事完成前に、ホルムアルデヒド及び揮発性有機化合物の室内濃度の測定を行い、測定結果報告書を監督員に提出すること。（1.5.9） また、測定の結果が、厚生労働省が設定した化学物質の室内濃度の指針値を超えた場合は、監督員と協議すること。 1. 測定対象化学物質 2. 測定対象室・測定箇所数 3箇所 ※ 図示 3. 測定方法 1) 空気の採取 ※ 拡散方式（※ 測定パッチ ・ パッシブサンプラー ・ パッシブガスタンジェン） ・ 吸引方式 2) 測定・分析は、厚生労働省が室内空気中化学物質の濃度を測定するための標準的方法として示した以下の方法によって行う。または、以下と相関の高い方法によって行うこともできる。 ホルムアルデヒド 高速液体クロマトグラフ法 揮発性有機化合物 ガスクロマトグラフィー質量分析法 工事施工途中における技術検査(「中間検査」)は下表を原則とし、監督職員と協議すること。（1.6.2） 工事写真等を電子データにより検査する際に必要となる機器の準備及び操作は受注者が行う。 1)新営工事 <table><tr><th>構 造</th><th>検 査 工 程</th></tr><tr><td>※延べ面積が500㎡を超えるもの</td><td>1.軸組完了時</td></tr></table> 2)改修工事 ・躯体の改修及び補修が工事に含まれ、仕上げ工事により品質の確認が困難と予想される場合は、改修・補修工法の施工完了時に行う。 ・屋根等の主要な工事部分について、工事施工中の仮設足場があれば確認困難と予想される場合は、仮設足場撤去前に新営工事に準じて行う。 ・発注者が必要と認めた工程(別途指示による) 1. 受注者は、下請負に付する場合には、次の各号に掲げる要件をすべて満たさなければならない。 1) 受注者が、工事の施工につき総合的に企画、指導及び調整するものであること。 2) 下請負者が大磯町の工事指名競争参加資格者である場合には、指名停止期間中でないこと。 3) 下請負者は、当該下請負工事の施工能力を有すること。 2. 受注者は、工事を下請負に付する場合には、可能な限り地元建設業者を使用することとする。 1. 施工体制台帳及び施工体系図 本工程を施工するために下請負契約を締結したものは、下請負業者と契約締結後全ての下請契約を2週間以内に監督員の一部を提出する。また、施工体台帳及び施工体系図は工事現場に備えるものとし、現場表示も併せて行うものとする。 2. 主要機器資材メーカー報告書 本工程において使用する主要機器資材メーカー報告書1通を監督員に提出し、通知する。 3. 技能士報告書 本特記仕様書第1章第6項で技能士が適用された場合は、報告書1通を監督員に提出し通知する。 4. 再生資源利用計画書(実施書)、再生資源利用促進計画書(実施書) 工事完了後「建設副産物情報交換システム」(COBRIS入力システム)により、入力したデータを提出する。 なお、データの提出が困難な場合は、監督職員の承諾を得た上で、紙による提出とする。 5. 施工計画書(監督職員の承諾を受けたもの) 工事期間中に提出した施工計画書をとりまとめ、完成時に成果品の一部として監督職員へ提出する。提出方法については監督職員の指示による。 1) 工事の一時中止に係る計画の作成 契約書第20条の規定により工事の一時中止の通知を受けた場合は、中止期間中における工事現場の管理に関する計画「基本計画書」を発注者に提出し、承諾を受けるものとする。 なお、基本計画書には、中止時点における工事の出来形、職員の体制、労働者数、搬入材料及び建設機械器具等の確認に関すること、中止に伴う工事現場の体制の縮小と再開に関すること及び工事現場の維持・管理に関する基本的事項を明らかにする。 2) 工事の施工を一時的に中止する場合は、工事の続行に備え工事現場を保全すること。	構 造	検 査 工 程	※延べ面積が500㎡を超えるもの	1.軸組完了時																									
	構 造	検 査 工 程																													
	※延べ面積が500㎡を超えるもの	1.軸組完了時																													
	10 技術検査	(1.6.2)																													
⑪ 工事の下請負																															
⑫ 報告書																															
⑬ 工事の一時中止																															
⑭ 完成時の提出図書等	<table><tr><th>提出図書等</th><th>部数</th><th>備 考</th></tr><tr><td>完成写真(改修工事の場合は着工前を左、完成写真を右に入れたもの)</td><td>※2部</td><td></td></tr><tr><td>工事写真</td><td>※1部</td><td></td></tr><tr><td>完成図</td><td>※ 二つ折り製本 ※ A4判二つ折り製本 ・ 縦表紙製本(折りたたみーA4)</td><td>※2部 ※1部 ※1部</td></tr><tr><td></td><td>※ JWCAD形式、及びPDF形式 ※ 原図</td><td>※1部 ※1部</td></tr><tr><td>施工計画書(工事期間中に監督職員の承諾を受けたものをとりまとめたもの)</td><td>※1部</td><td></td></tr><tr><td>承認</td><td>※1部</td><td></td></tr><tr><td>保全に関する資料(標仕(1.7.3)(a)に示す内容)</td><td>※1部</td><td>関係部署に1部</td></tr><tr><td>工事関係資料</td><td>※1部</td><td></td></tr><tr><td>その他監督職員が指示する書類</td><td colspan="2">監督職員の指示による</td></tr></table>	提出図書等	部数	備 考	完成写真(改修工事の場合は着工前を左、完成写真を右に入れたもの)	※2部		工事写真	※1部		完成図	※ 二つ折り製本 ※ A4判二つ折り製本 ・ 縦表紙製本(折りたたみーA4)	※2部 ※1部 ※1部		※ JWCAD形式、及びPDF形式 ※ 原図	※1部 ※1部	施工計画書(工事期間中に監督職員の承諾を受けたものをとりまとめたもの)	※1部		承認	※1部		保全に関する資料(標仕(1.7.3)(a)に示す内容)	※1部	関係部署に1部	工事関係資料	※1部		その他監督職員が指示する書類	監督職員の指示による	
提出図書等	部数	備 考																													
完成写真(改修工事の場合は着工前を左、完成写真を右に入れたもの)	※2部																														
工事写真	※1部																														
完成図	※ 二つ折り製本 ※ A4判二つ折り製本 ・ 縦表紙製本(折りたたみーA4)	※2部 ※1部 ※1部																													
	※ JWCAD形式、及びPDF形式 ※ 原図	※1部 ※1部																													
施工計画書(工事期間中に監督職員の承諾を受けたものをとりまとめたもの)	※1部																														
承認	※1部																														
保全に関する資料(標仕(1.7.3)(a)に示す内容)	※1部	関係部署に1部																													
工事関係資料	※1部																														
その他監督職員が指示する書類	監督職員の指示による																														
⑮ 設備工事との取り扱い																															
⑯ 設計GL	※ 図示 ・ 現状平均地盤高 ・ 監督員の指示による																														

[illegible]

章

目

項

2

仮設工事

①

仮囲い

仮囲いの位置及び延長は図示による。

・ガードフェンス（H=1800） ・波形鉄板（H＝ ） ・単管シート（H＝ ）

・キタダゲート（H＝ ， W＝ ）× 箇所

※ 配置する ・ 配置しない

※ 設置する

内部足場 ※ 脚立、足場板等 <2.2.1>

防護シート○ 設ける ・ 設けない

材料の運搬 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ E種 <表2.2.2>

足場を設ける場合は、「手すり先行工法等に関するガイドライン（厚生労働省）」によるものとし、設置については「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」及び「働きやすい安心感のある足場に関する基準」によること。

家具の移動 ・ 行う(図示) ○ 行わない <2.3.1>

既存ブラインド・カーテン等の養生及び保管 ・ 行う ・ 行わない

養生の方法

保管場所

6 仮設間仕切り ・ 設ける(図示) ・ A種 ・ B種 ※ C種 <2.3.2><表2.3.1>

7 監督職員事務所 ※ 設けない（請負者事務所に打合せ会議室を確保する）・ 設ける（規模 m程度 請負者事務所と同様 ・可 ・否）<2.4.1>

⑧ 工事用水 構内既存の施設 ○ 利用できる（※有償 ・無償） ※ 利用できない

⑨ 工事用電力 構内既存の施設 ○ 利用できる（※有償 ・無償） ※ 利用できない

⑩ 工事用通路 ※ 指定しない ・ 指定する（図示）

11 その他の仮設

3

内装改修工事

改修範囲

既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井、壁、床の改修範囲 <6.1.3>

※ 壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う。

・ 図示の範囲

天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井の改修範囲

※ 壁面より両側600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う。

・ 図示の範囲

天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修

※ 既存のまま

・ 図示の範囲

1

石こうボードその他ボード張り

<6.13.2～3><表6.13.1><表6.13.5>

種類又は記号	種別など	厚さ(mm)	規格番号
けい酸カルシウム板(繊維強化セメント板)0.8FK又は1.0FK		壁	・ 6(不燃) ・ 10(不燃) ・ 12(不燃)
		天井	・ 6(不燃) ・ 12(不燃)
グラスウール吸音ボード(吸音材料)GW-B	ガラスクロス(JIS A 3414 EP18程度) 額縁張り品		25(不燃) JIS A 6301(32K)
ロックウール化粧吸音板(吸音材料)DR	※ 内部用 ・ 軒天用	普通	○ 9(不燃) ・ 12(不燃)
		立体模様	・ 12(不燃) ・ 15(不燃) ・ 19(不燃)
せっこうボード(せっこうボード製品)GB-R		壁	○ 9.5(準不燃) ・ 12.5(不燃) ・ 15(不燃)
		天井	・ 9.5(準不燃) ・ 12.5(不燃)
シーリングせっこうボード(せっこうボード製品)GB-S		壁	・ 12.5(準不燃)
		天井	・ 9.5(準不燃) ・ 12.5(準不燃)
化粧せっこうボード(せっこうボード製品)GB-NC	トラバーチン模様 色 ※白 ・黄		・ 9.5(不燃) JIS A 6901
化粧せっこうボード(せっこうボード製品)GB-D	木目模様 木目模様（裏棧付き） 特殊模様	壁	・ 9.5(準不燃) ・ 12.5(不燃)
		天井	・ 9.5(準不燃) ・ 12.5(不燃)
せっこうボードの目地処理 ・ 継目処理工法 ・ 突き付け工法 ・ 突き付けV目地工法 ・ 目透し工法			

4

環境配慮改修工事

①

一般事項

石綿等の取扱については、石綿障害予防規則（平成17年2月24日厚生労働省令第21号）(以下、「石綿則」という。)を遵守すること。 <9.1.1>

施工調査

・ 行わない。

※ 行う （調査結果は図面等に記録し、監督職員に提出すること。調査の結果、設計図書と異なる場合は監督職員と協議する。）

調査箇所 ※ 図示 ・ （ ）

調査事項 ※ 石綿含有建材等の使用部位

※ 石綿含有建材等の種類、厚さ

※ 施工範囲と工事範囲区分

※ 廃棄物などの搬出方法

・

・

石綿含有分析 <9.1.1>

○ 行わない

・ 行う（分析結果は監督職員に提出する。） 分析方法 ※ JIS A 1481「建材製品中のアスベスト含有測定法」による。

石綿粉じん濃度測定 <9.1.1>

・ 行わない。

専門工事業者 <9.1.2>

石綿含有建材の除去を直接行う専門業者については、工事に相応した技術を有することを証明する書類を監督員に提出する。

作業主任者の選出 <9.1.2>

石綿作業主任技能講習又は平成18年3月以前の特定化学物質等作業主任者技能講習を終了したものの中から、「石綿作業主任者」を選任しなければならない。

除去作業者の教育 <9.1.2>

作業者は、就業時に石綿則に基づく教育を受けた者とする。また、一般健康診断、石綿健康診断及びじん肺健康診断を受診した者とし、肺機能に異常のない者とする。

特別管理産業廃棄物管理責任者の選出 <9.1.2>

排出業者は、特別管理産業廃棄物管理責任者の資格を有するものを配置しなければならない。

石綿含有成形板の除去工事 <9.1.5>

・ 行う（適用範囲 ・図示 ・ ）

・ 行わない

養生 <9.1.5>

※ 作業場は、養生シート等を用いて区画する。

除去工法 <9.1.5>

※ 作業場は、散水等により湿潤化し、手ばらしによること。

※ やむを得ず破壊しなければならない場合には、十分に湿潤化した状態で行うこと。

※ 除去物については、粉じんの飛散防止に努め、特に破砕された石綿含有成形板については、湿潤化の上、丈夫なプラスチック袋に入れる等の飛散防止措置を講ずること。

石綿含有材除去について

石綿含有する吹付材及び塗装材の面に設備用のアンカー等を設置する場合

粉じん飛散抑制剤を吹付し該当部を除去し粉じん飛散防止抑制剤を吹付すること。

②

除去工事共通事項

③

石綿含有成形板の処理

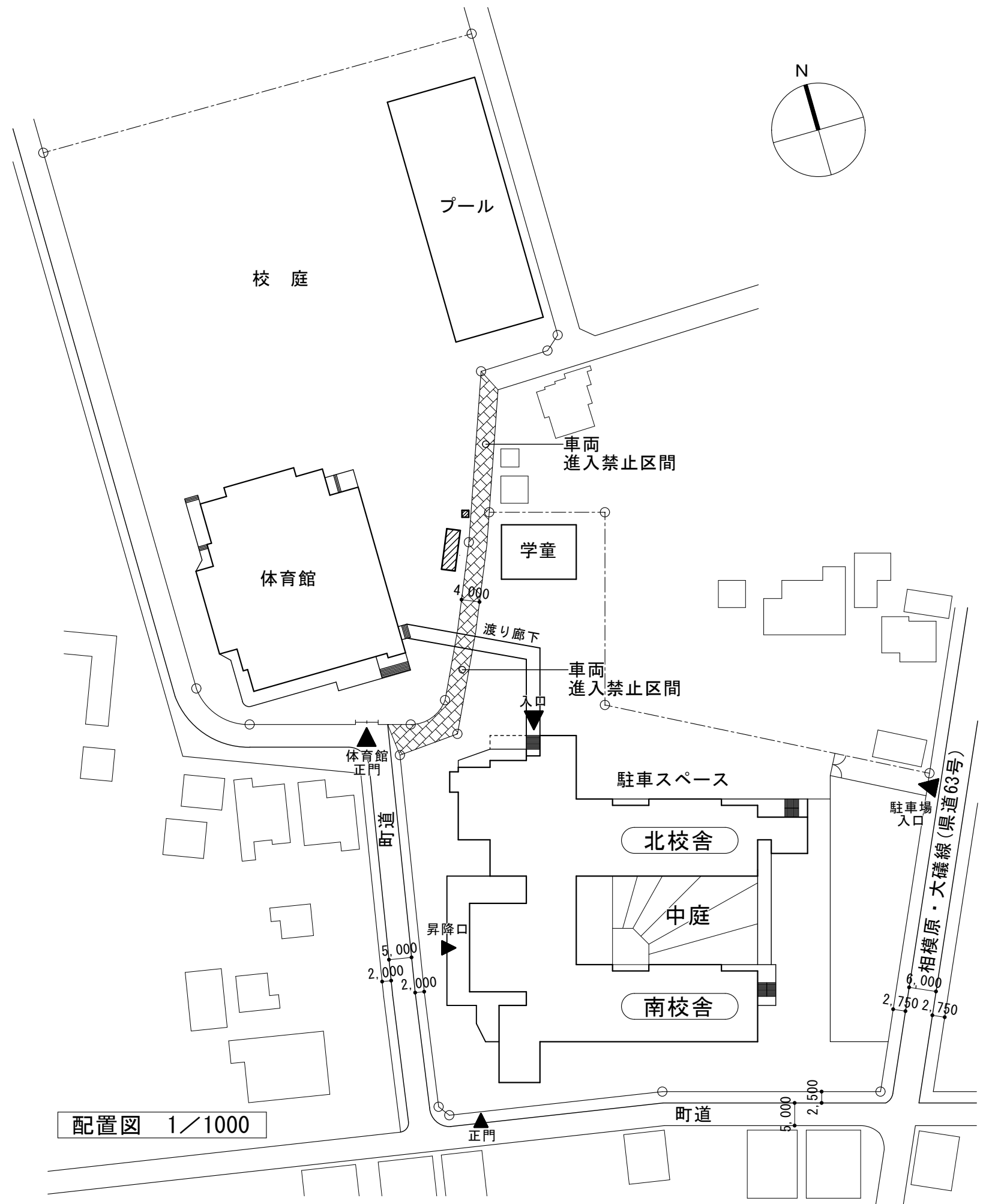
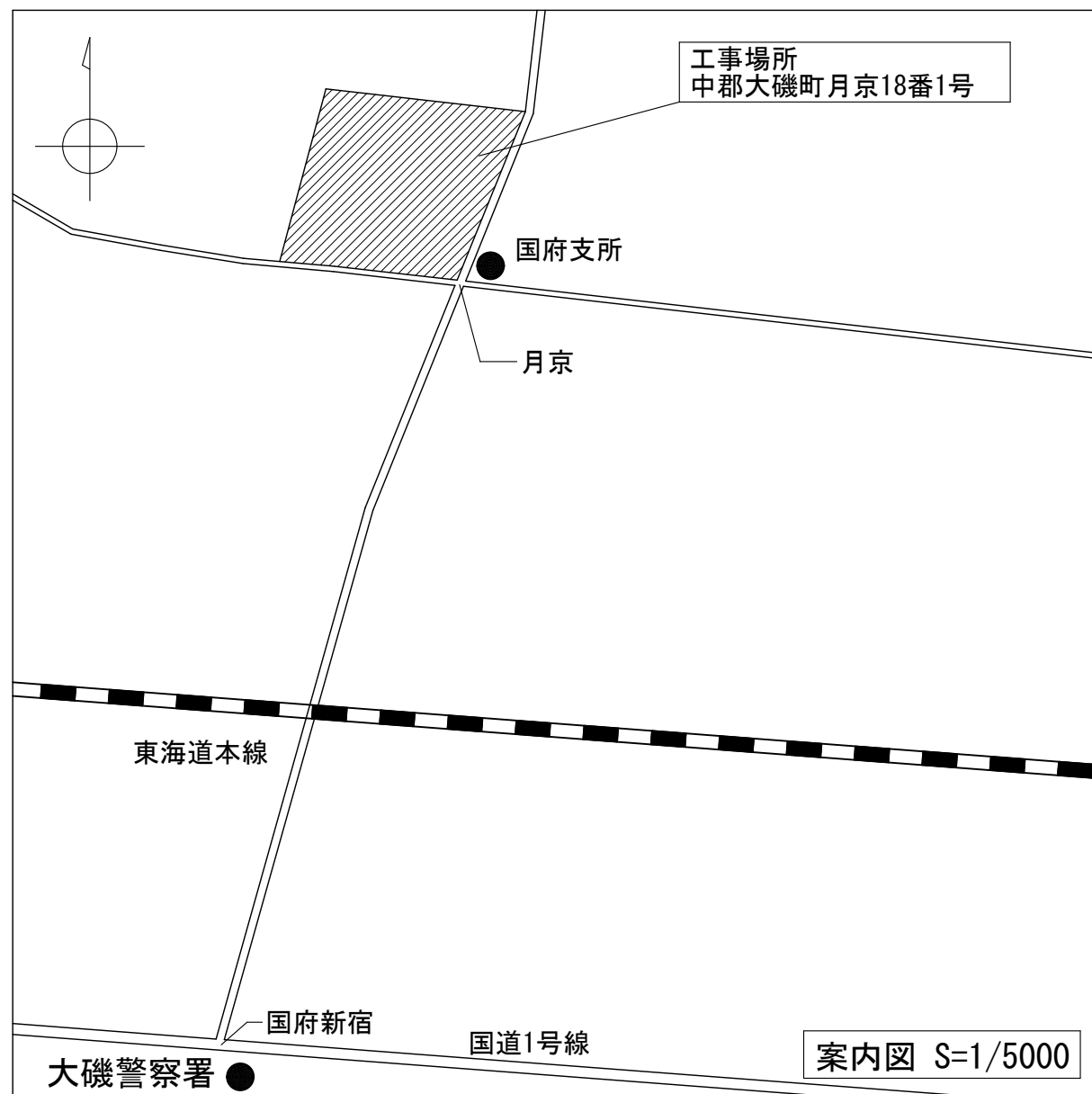
④

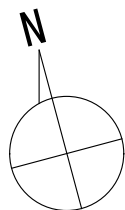
その他

		国府小学校特別教室等空調設備整備工事	図面名称 特記仕様書2	日付	図面番号 A-03
			種別 —	数量 ● ● ● ●	区分

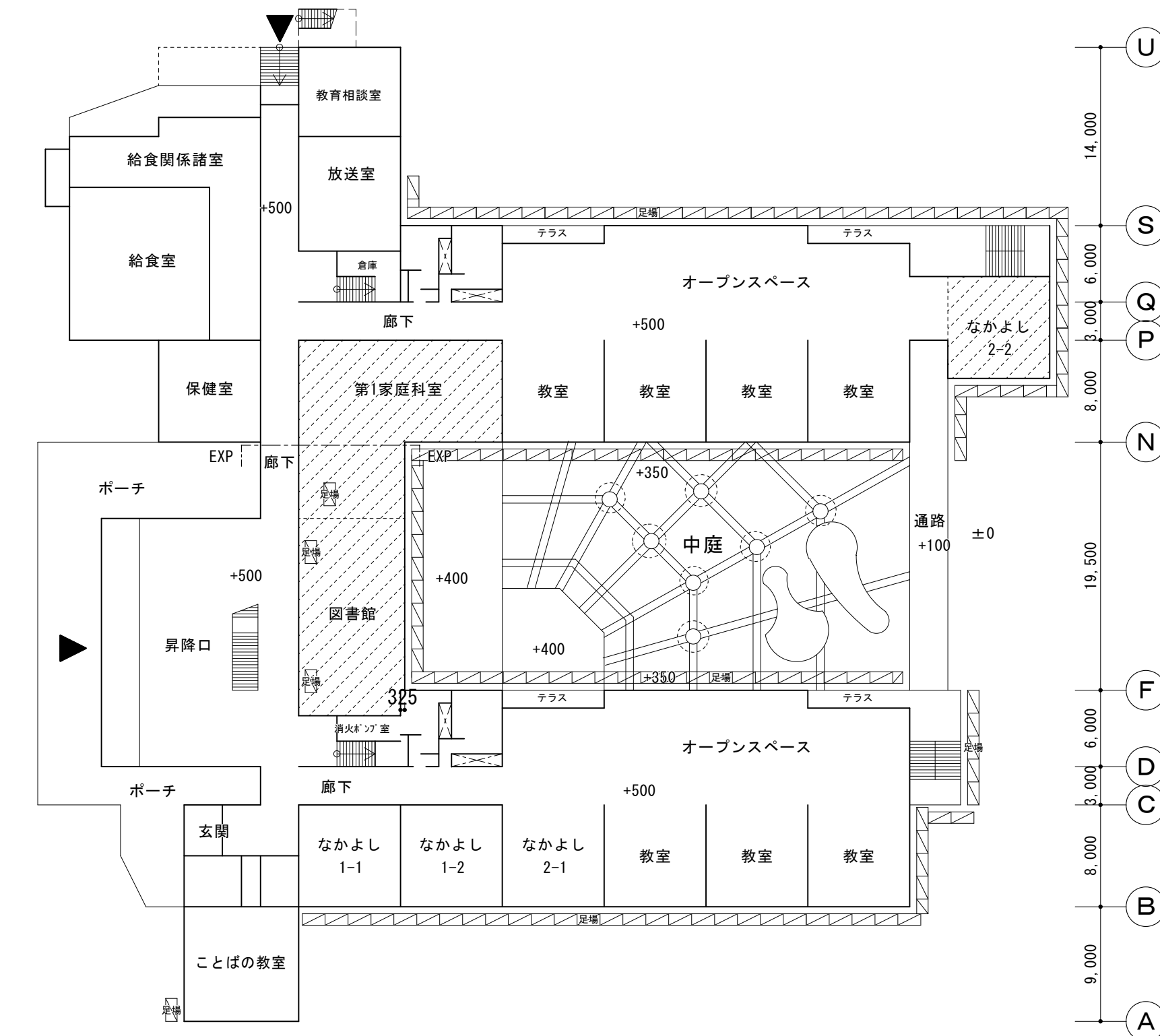
建物概要

建物名称	大磯町立国府小学校
所在地	中郡大磯町月京18番1号
主要用途	小学校
敷地面積	23,148㎡
床面積	南校舎3,703㎡ 北校舎3,579㎡
規模・構造	鉄筋コンクリート造、地上3階建て
工事概要表	特別教室等空調設備改修に係わる建築改修工事 電気設備改修工事、機械設備改修工事





北校舎

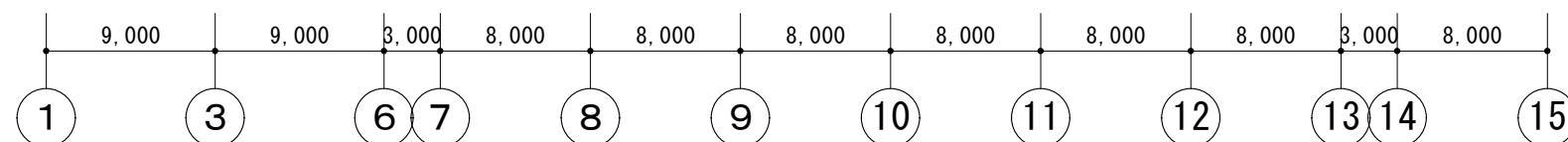


南校舎

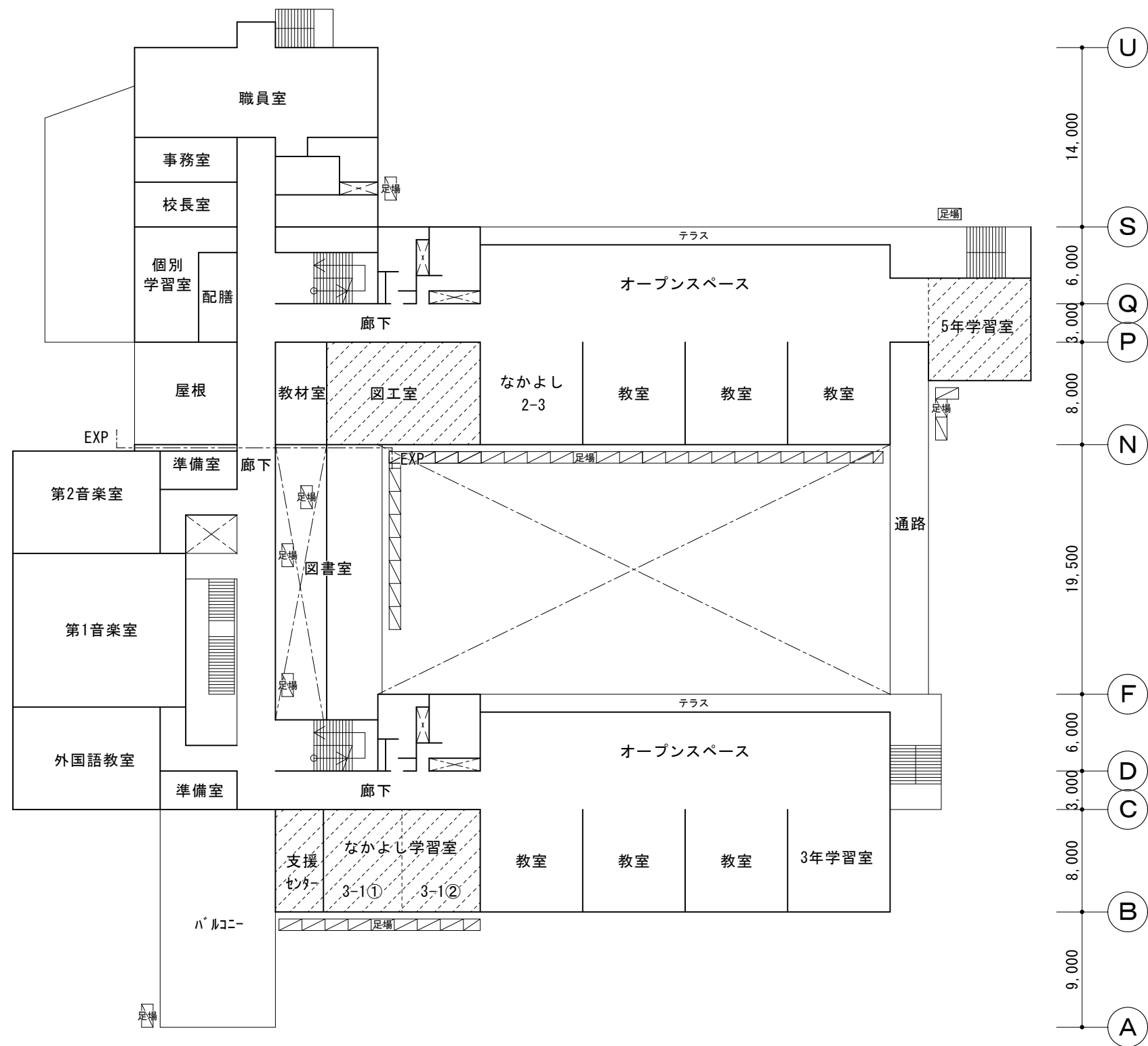
凡例

- 工事対象室
- 外部足場

1階平面図 1/400



北校舎



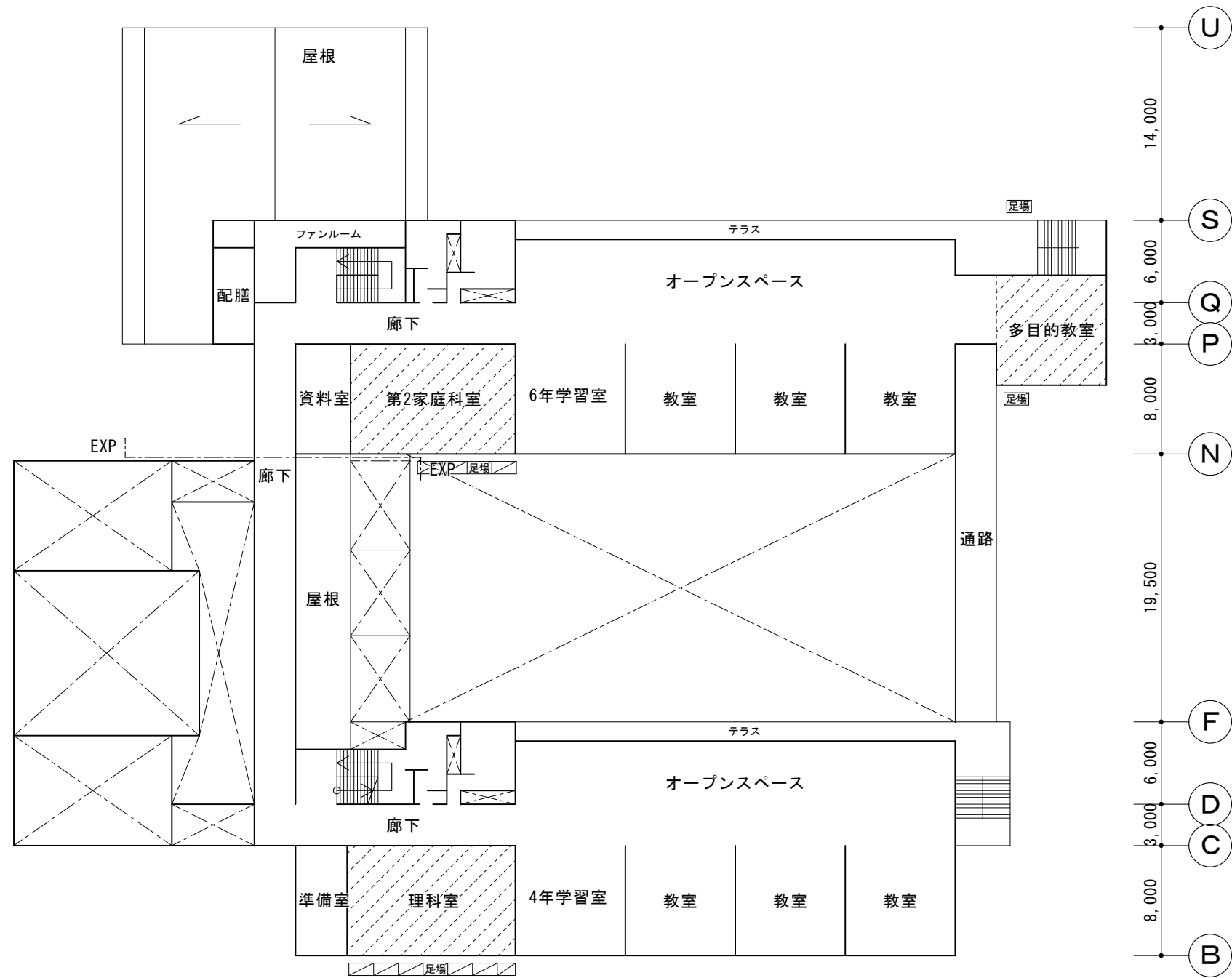
南校舎

凡例

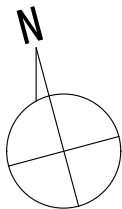
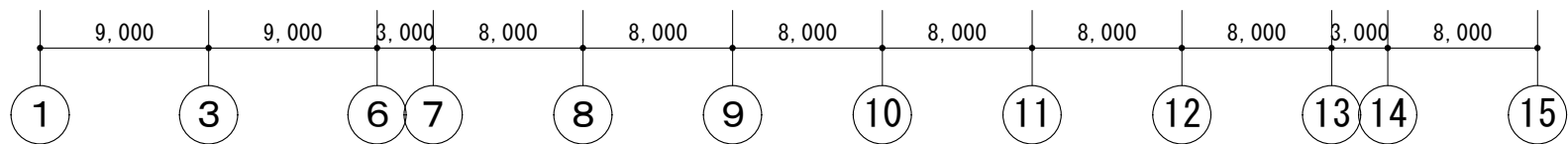
- 工事対象室
- 外部足場

2階平面図 1/400

北校舎



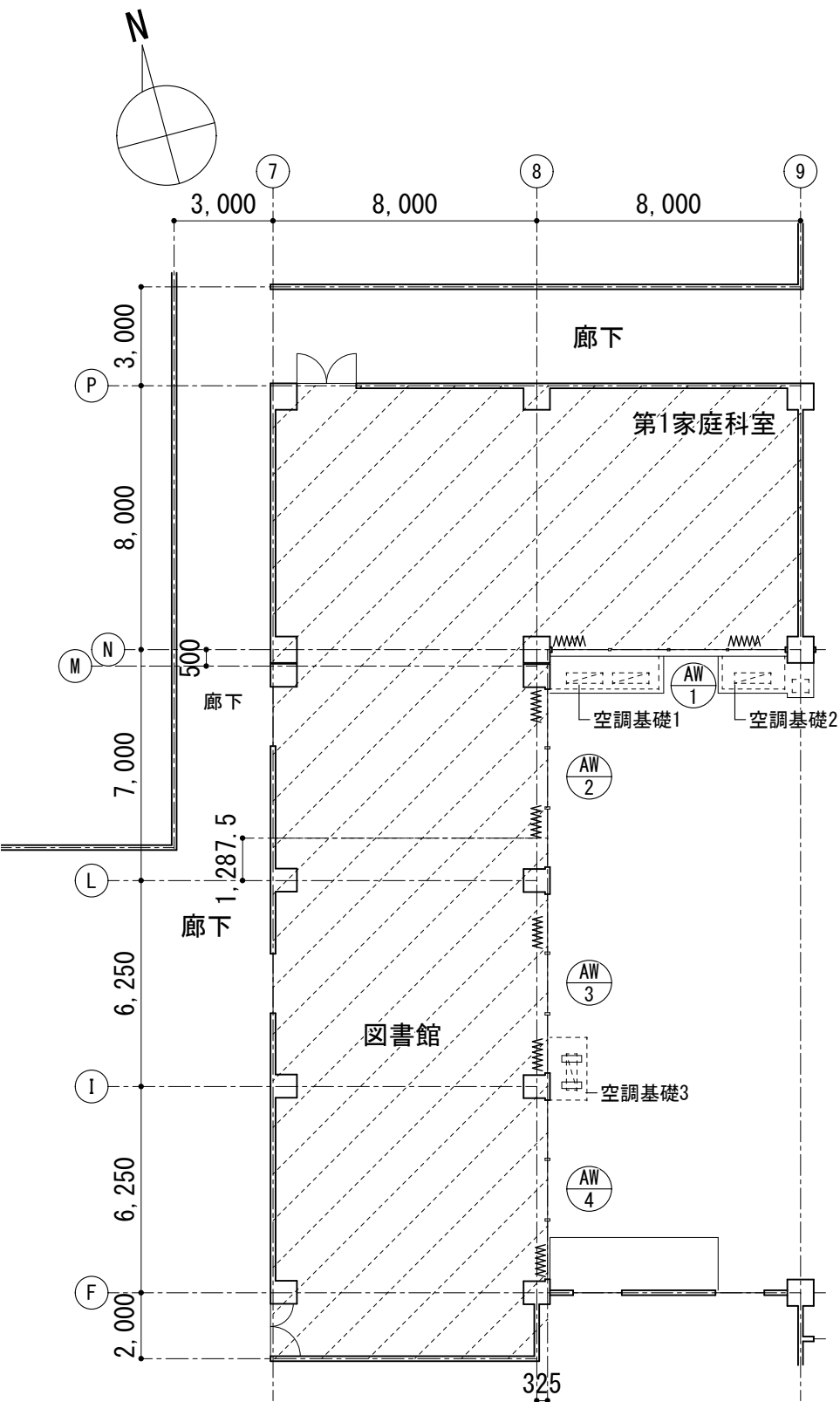
南校舎



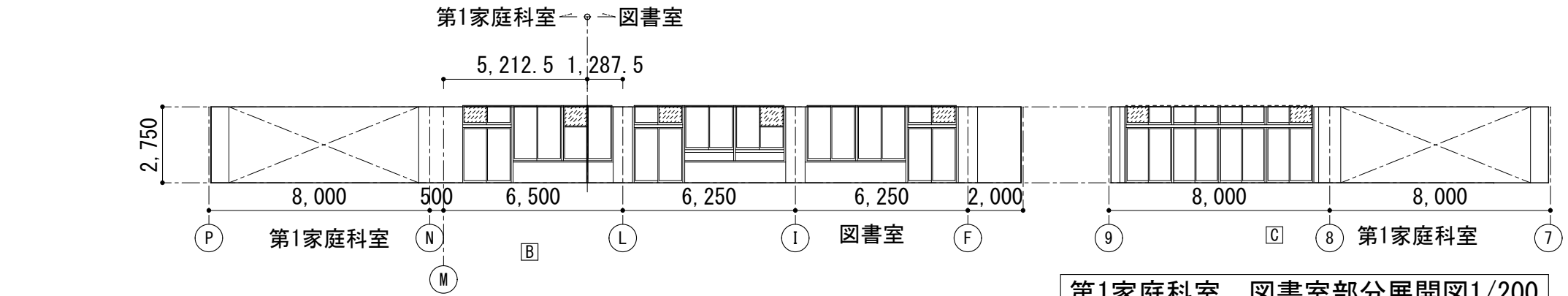
凡例

- 工事対象室
- 外部足場

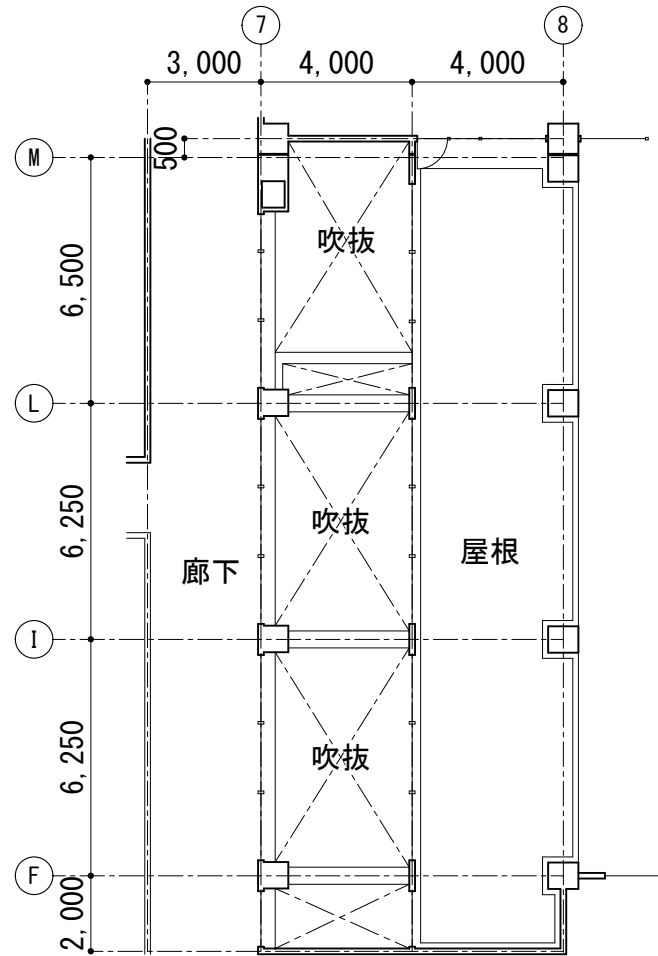
3階平面図 1/500



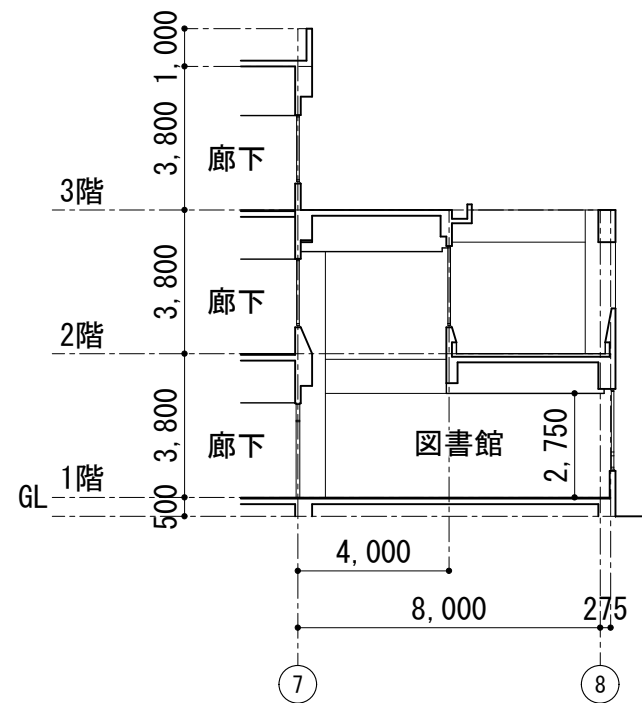
第一家庭科室・図書館平面図1/200



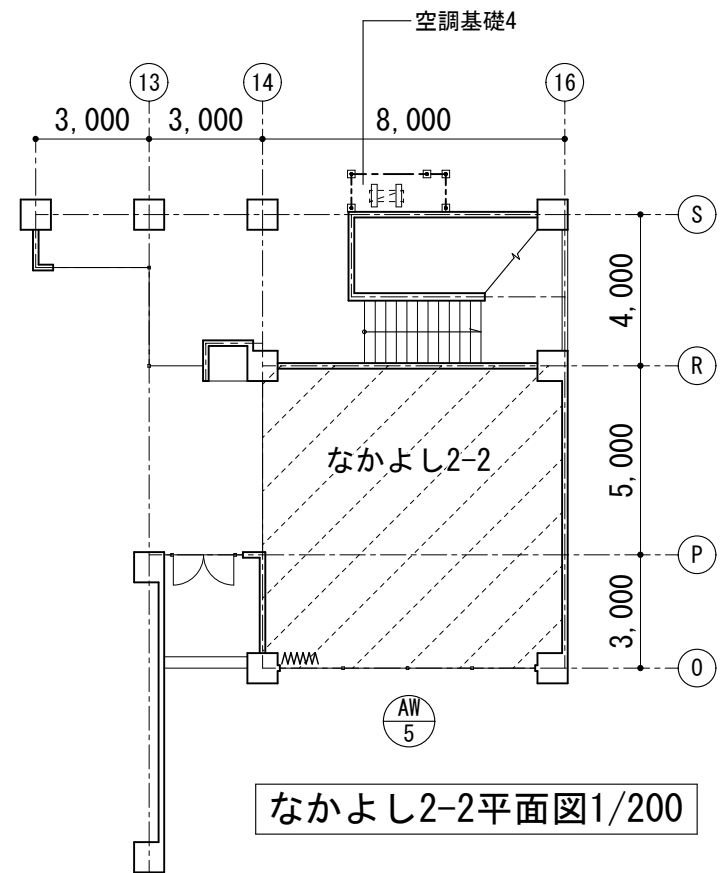
第1家庭科室、図書室部分展開図1/200



2階平面図(図書館吹抜部分)1/200



図書室部分断面図1/200



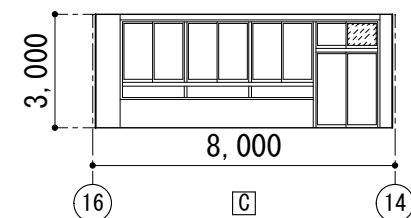
なかよし2-2平面図1/200

なかよし2-2 仕上表

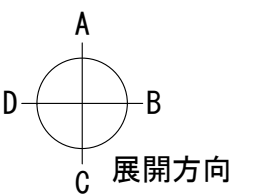
部位	仕 上
壁	仕上塗材
天井	岩綿吸音板(下地石膏ボードt9.5)

凡例

は石綿含有材料(レベル3)を示す。撤去する場合は適切な撤去処分を施す。



なかよし2-2部分展開図1/200



工事対象室

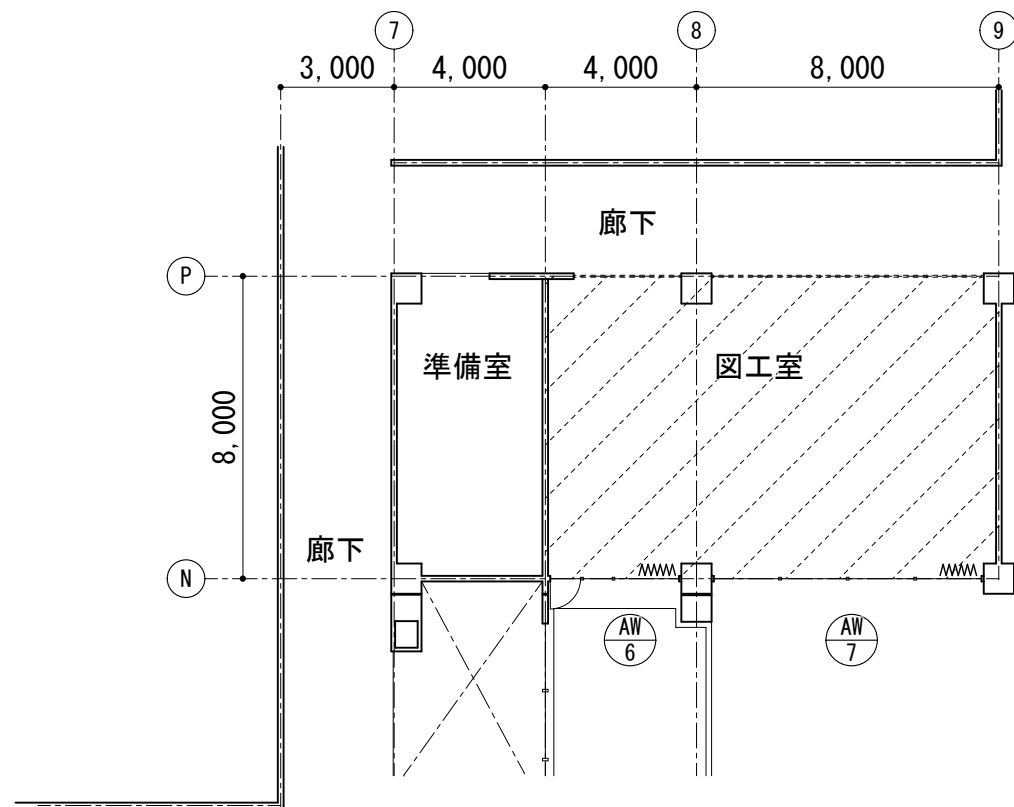
- 天井点検口450角
- カーテン及びカーテンレール設置
- ガラス撤去の上アルミパネル設置

図書室、第1家庭科室 仕上表

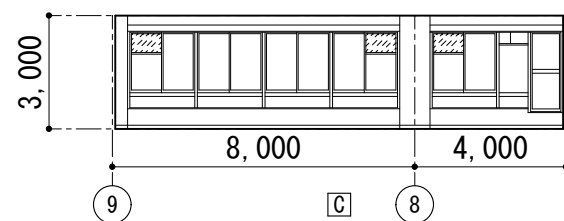
部位	仕 上
壁	仕上塗材
天井	岩綿吸音板(下地石膏ボードt9.5)

凡例

は石綿含有材料(レベル3)を示す。撤去する場合は適切な撤去処分を施す。



図工室部分平面図1/200



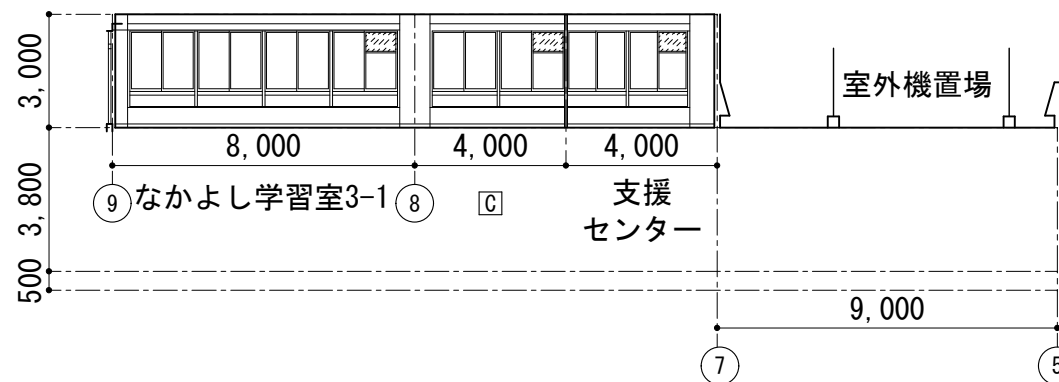
図工室部分展開図1/200

図工室、なかよし学習室3-1、支援センター
5年学習室仕上表

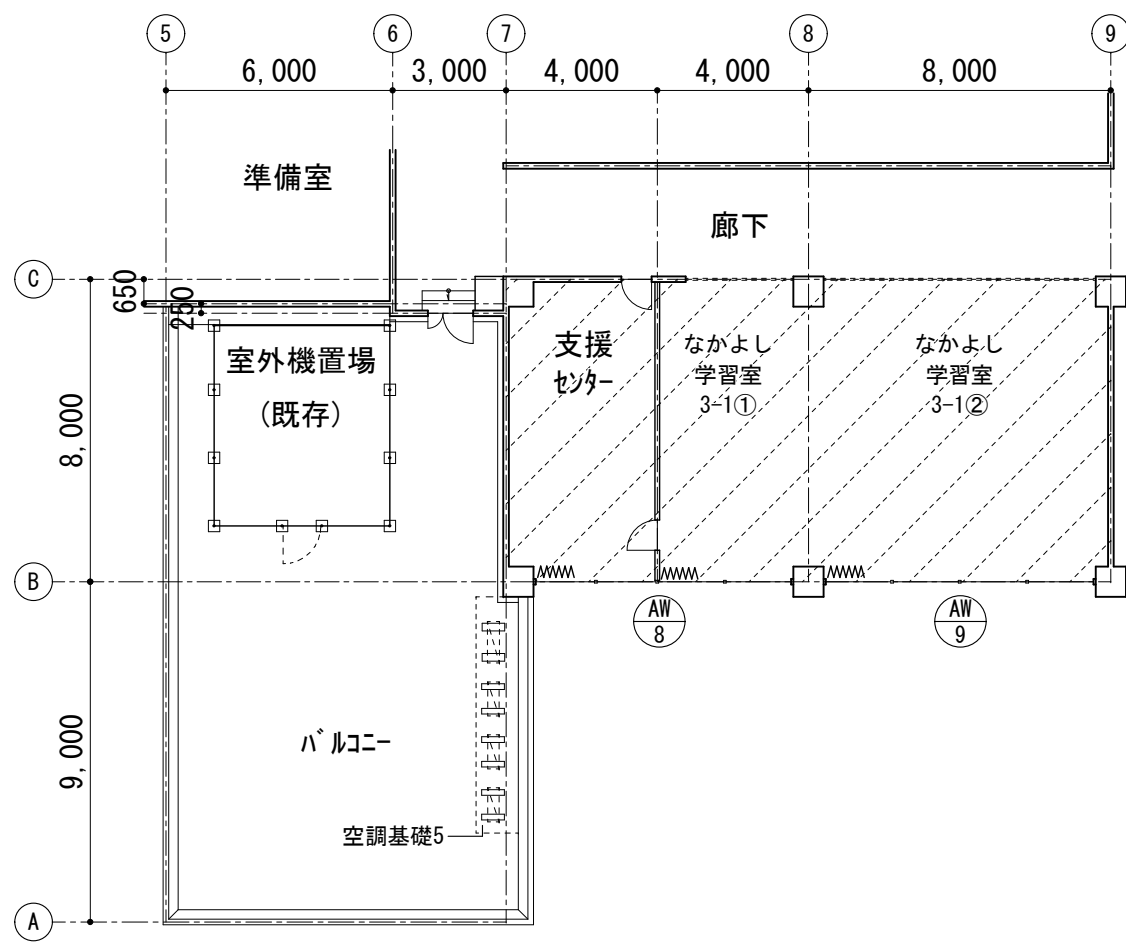
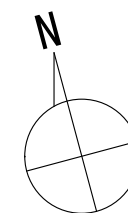
部位	仕 上
壁	仕上塗材
天井	化粧石膏ボードt9.5 岩綿吸音板(下地石膏ボードt9.5)※5年学習室のみ

凡例

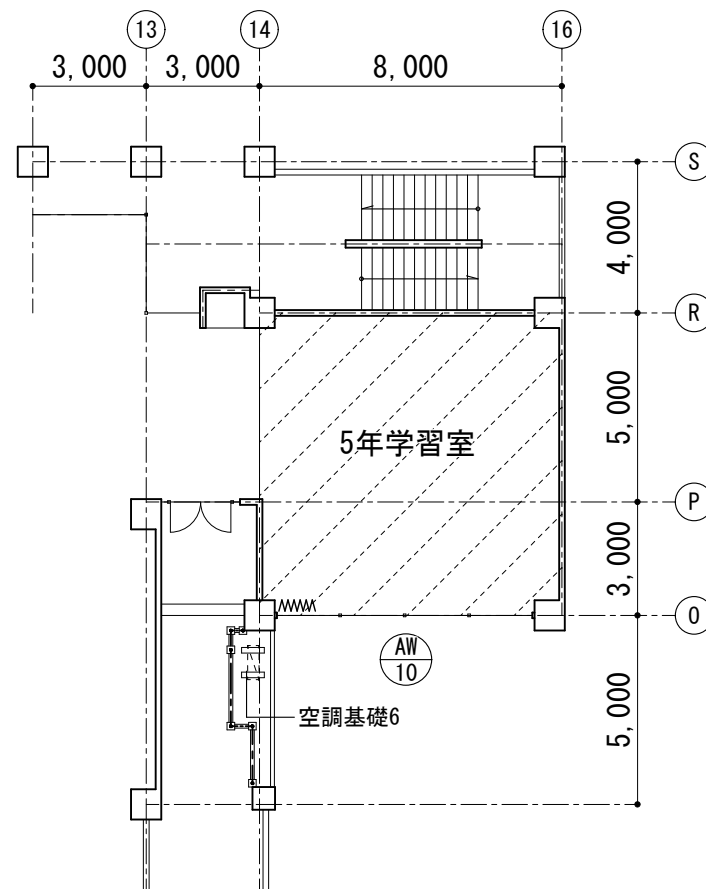
は石綿含有材料(レベル3)を示す。撤去する場合は適切な撤去処分を施す。



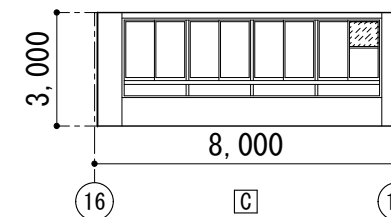
なかよし学習室3-1、支援センター部分展開図1/200



なかよし学習室3-1、個別相談室部分平面図1/200

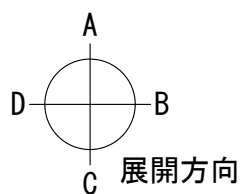


5年学習室平面図1/200

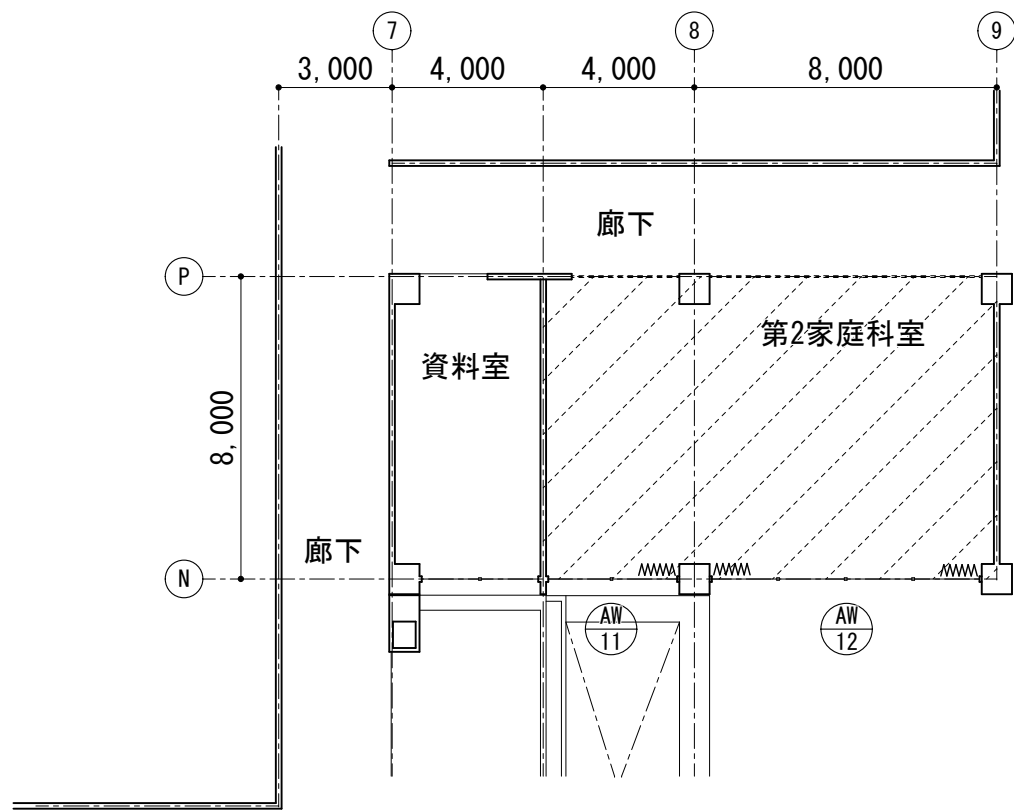


5年学習室部分展開図1/200

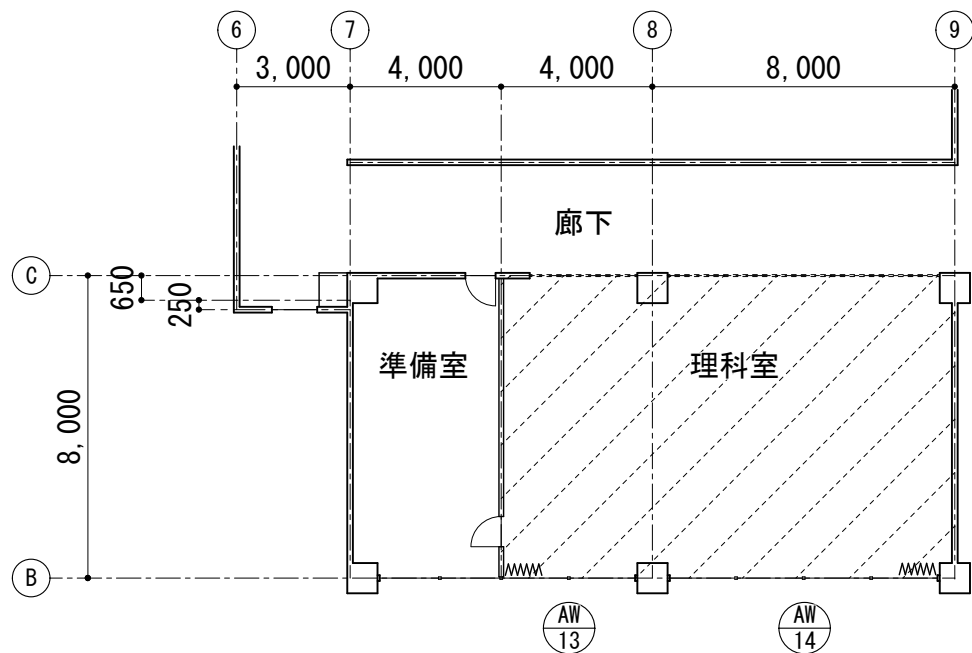
- ☒ 天井点検口450角
- www カーテン及びカーテンレール設置
- ガラス撤去の上アルミパネル設置



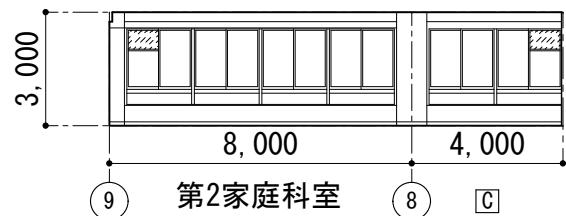
工事対象室



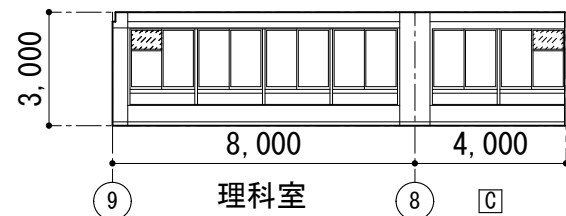
第2家庭教室部分平面図1/200



理科室部分平面図1/200

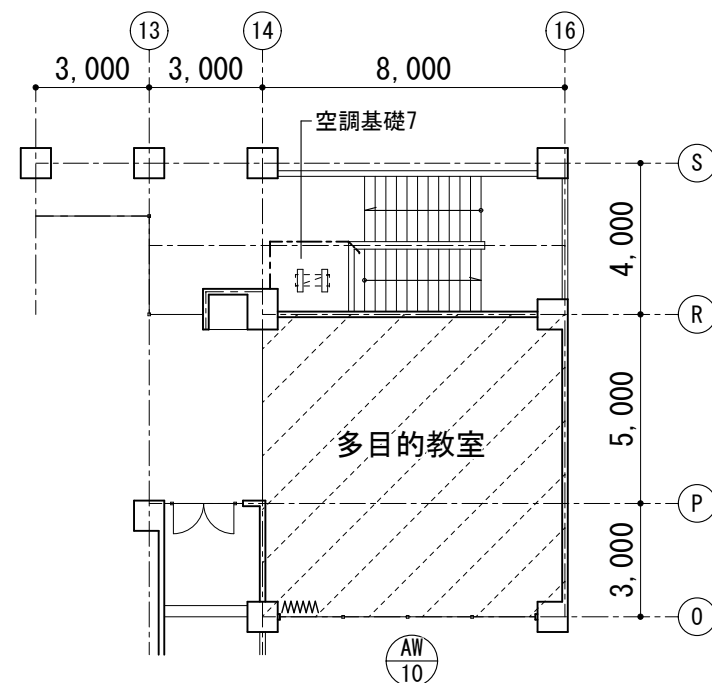


第2家庭教室部分展開図1/200



理科室部分展開図1/200

工事対象室



多目的教室室部分展開図1/200

第2家庭教室、理科室、多目的教室仕上表

部位	仕上
壁	仕上塗材
天井	化粧石膏ボードt9.5 岩綿吸音板(下地石膏ボードt9.5)※多目的教室のみ

凡例

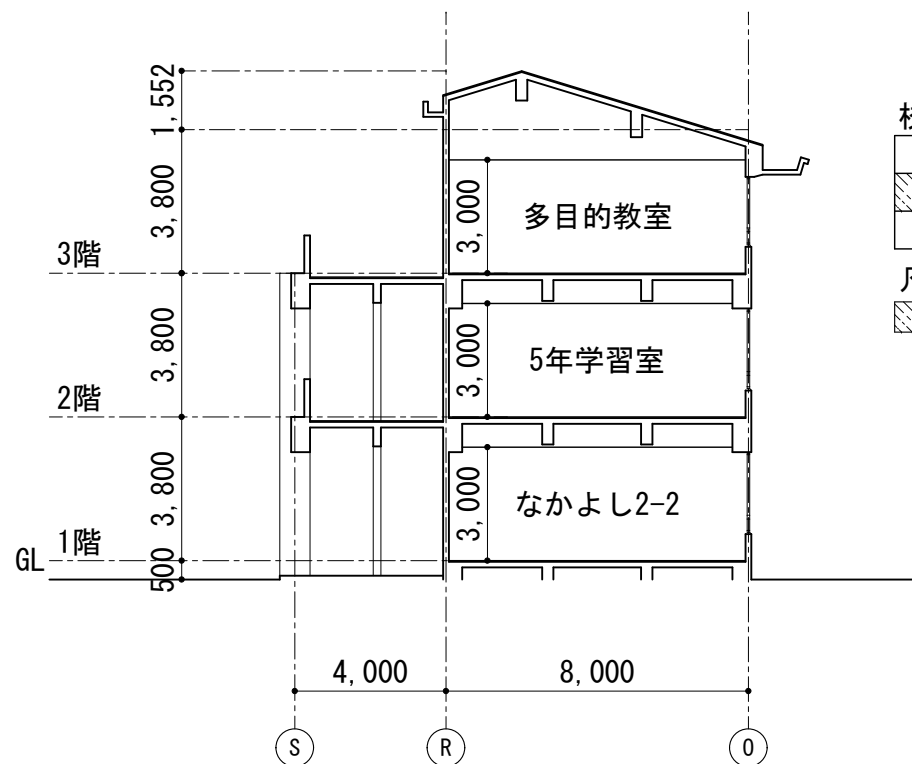
は石綿含有材料(レベル3)を示す。撤去する場合は適切な撤去処分を施す。

校舎外部仕上表

部位	仕上
外壁	吹付材
軒天	ケイ酸カルシウム板EP

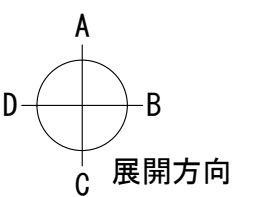
凡例

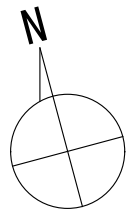
は石綿含有材料(レベル3)を示す。撤去する場合は適切な撤去処分を施す。



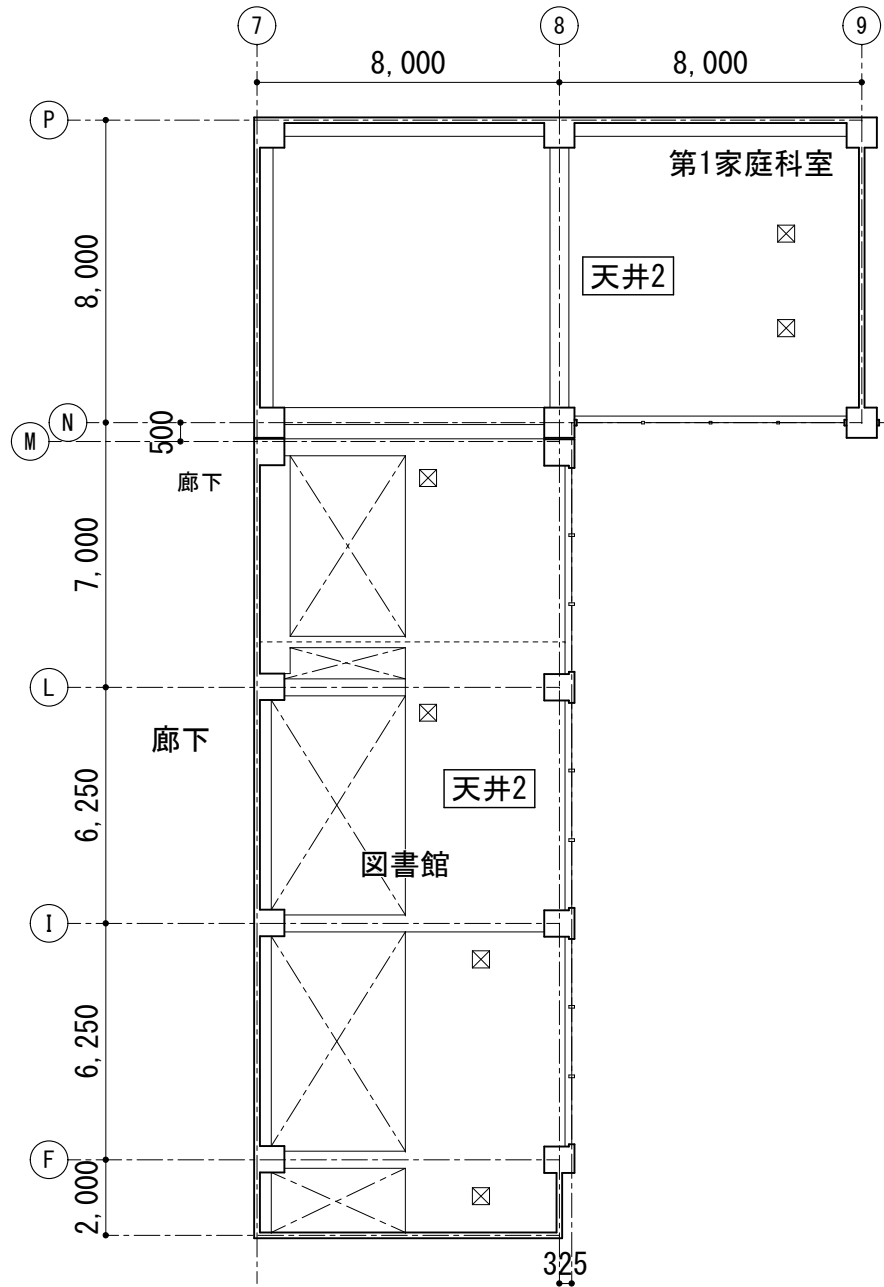
北校舎部分断面図1/200

- 天井点検口450角
- カーテン及びカーテンレール設置
- ガラス撤去の上アルミパネル設置

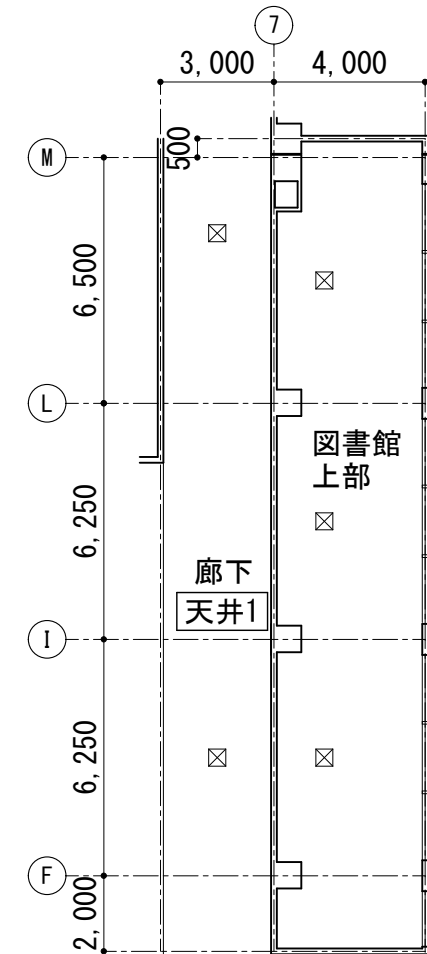




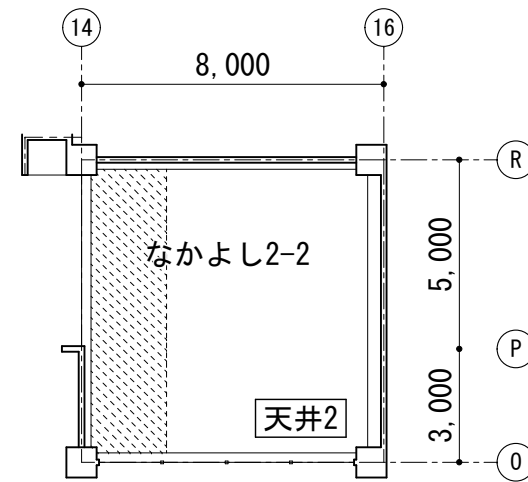
天井仕上表		
部位	仕 上	
天井1	撤去 新設	化粧石膏ボードt9.5
天井2		岩綿吸音板(下地石膏ボードt9.5)



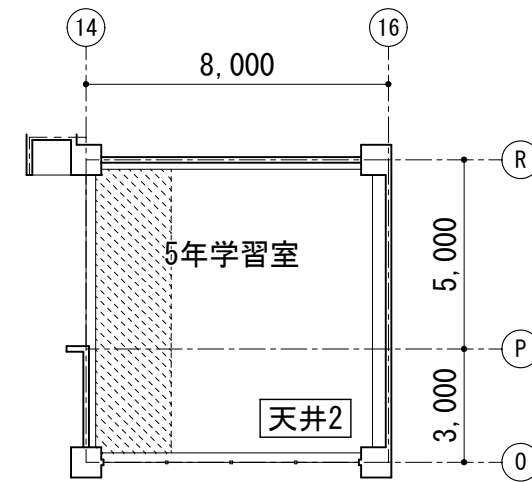
第一家庭教室・図書館天井伏図1/200



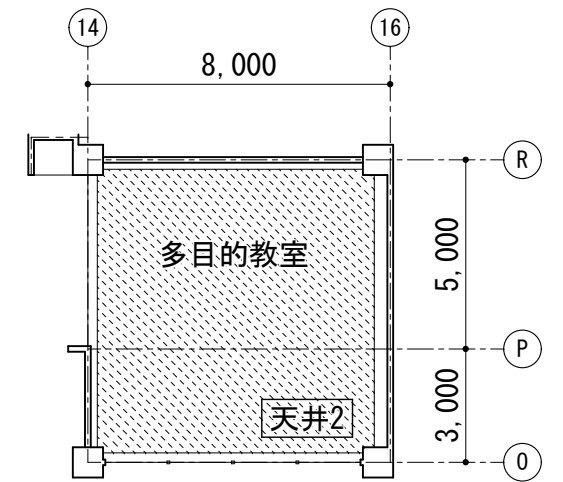
2階部分天井伏図(図書館吹抜部分)1/200



なかよし2-2天井伏図1/200

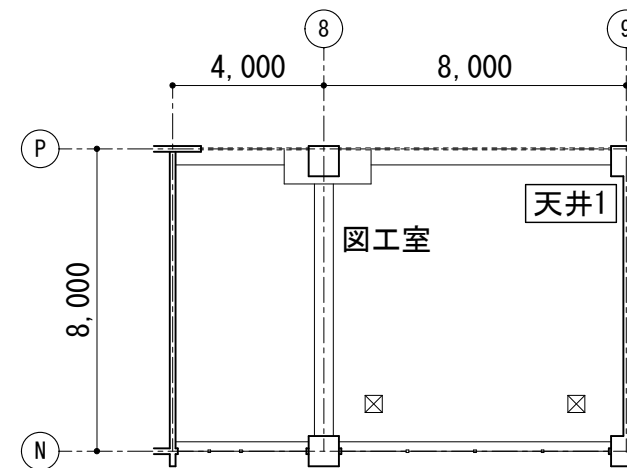


5年学習室天井伏図1/200

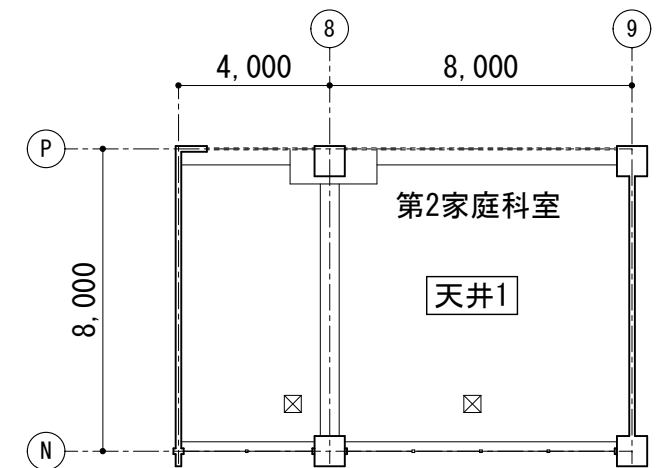


多目的教室天井伏図1/200

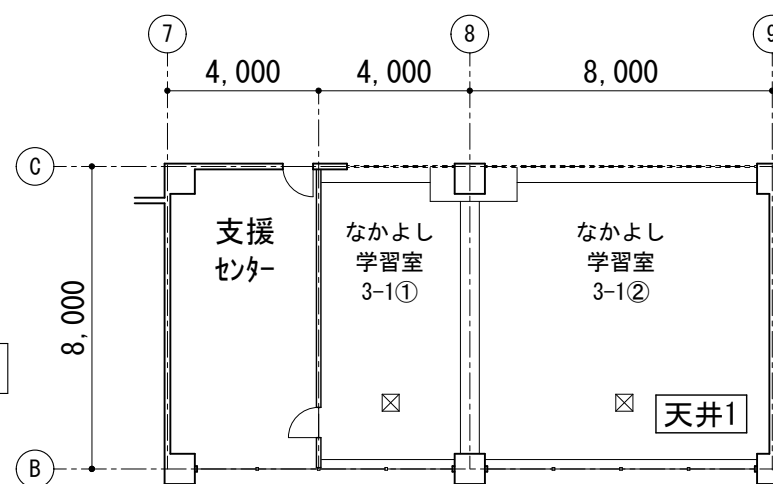
は天井を撤去新設



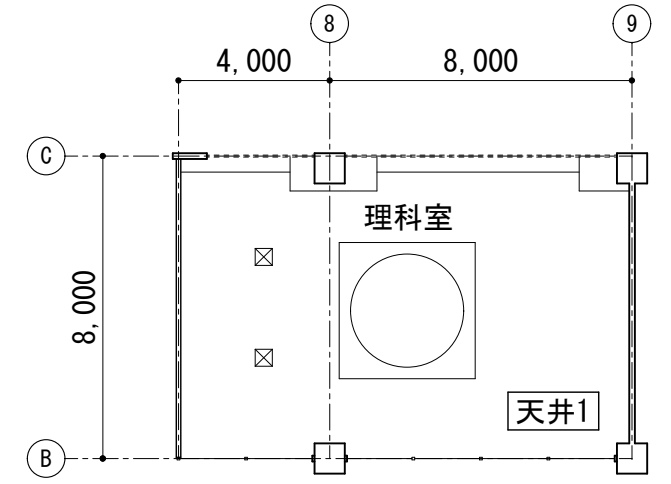
図工室天井伏図1/200



第2家庭教室天井伏図1/200



なかよし学習室3-1、個別相談室部分平面図1/200



理科室部分平面図1/200

工事対象室

- 天井点検口450角
- カーテン及びカーテンレール設置
- ガラス撤去の上アルミパネル設置

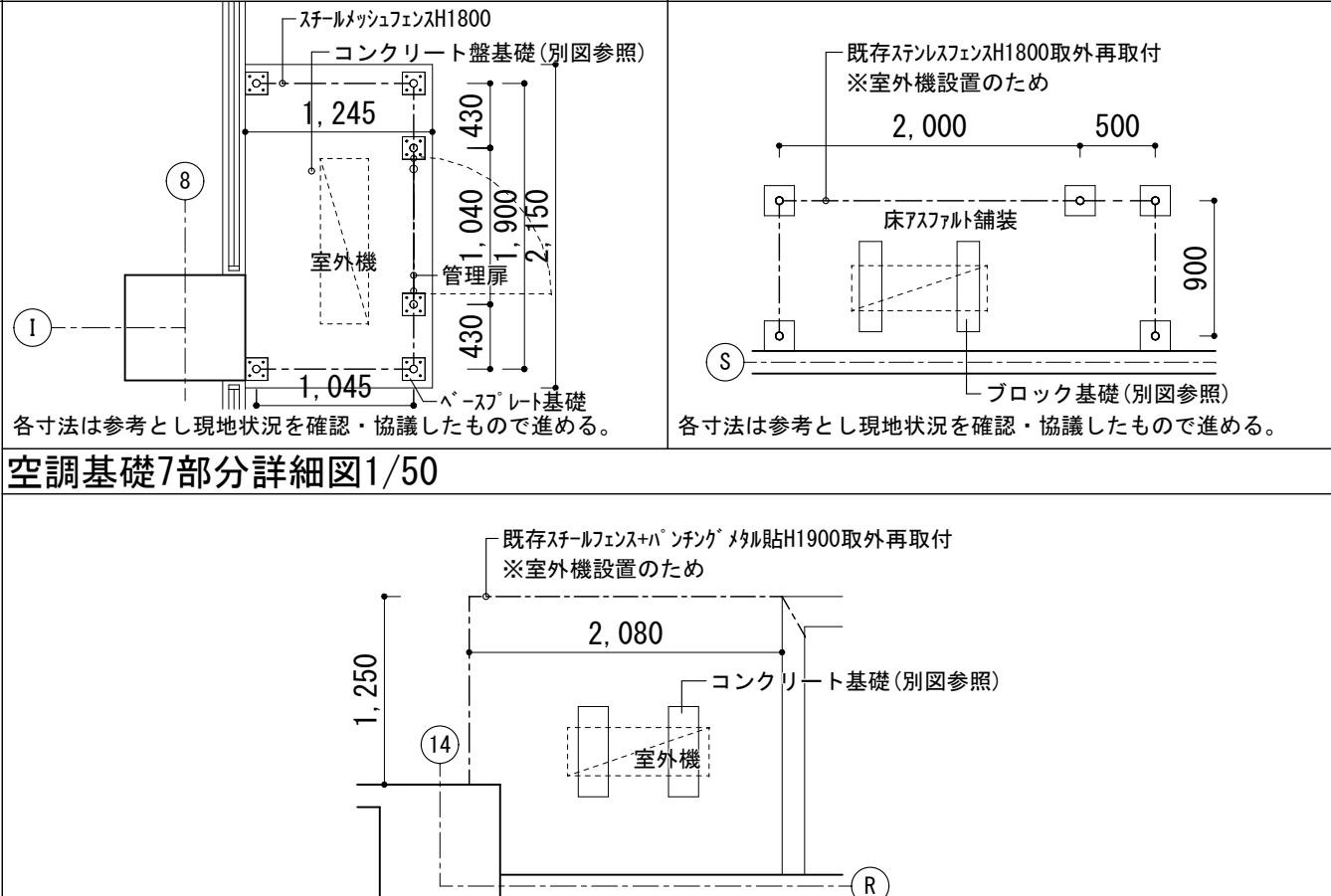
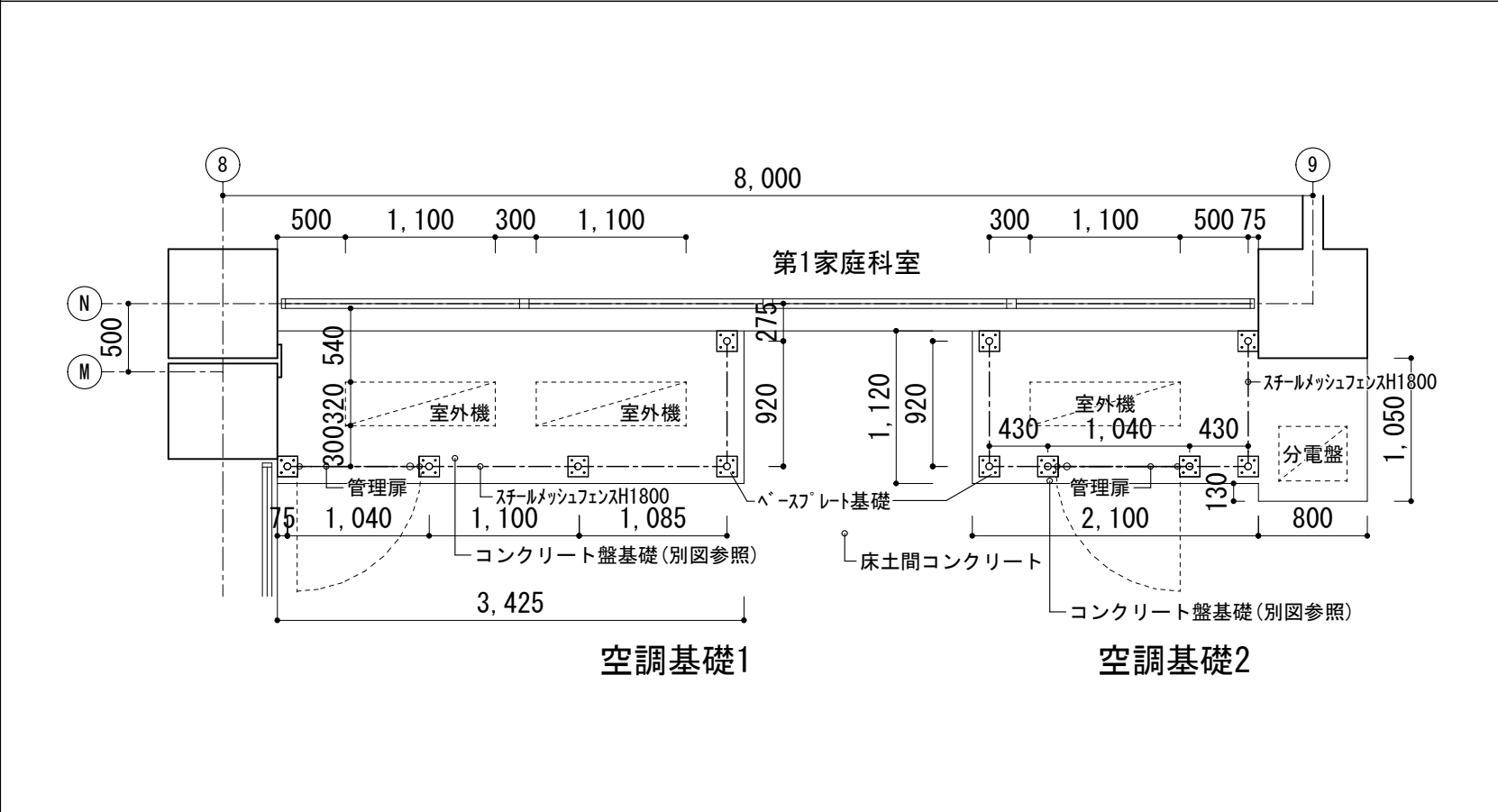
符号	<div>AW1</div> アルミ製建具（一部改修）	1か所	<div>AW2</div> <div>AW3</div> <div>AW4</div> アルミ製建具（一部改修）			各1か所
姿図						
材料	アルミ製		アルミ製			
場所	第1家庭科室		第1家庭科室、図書館			
ガラス	部分既存ガラス撤去		部分既存ガラス撤去→一部強化ガラスt4改修			
金物						
備考	部分アルミパネルt3.0設置		部分アルミパネルt3.0設置			
	----- 部分アルミカーテンレール（シングル）設置		----- 部分アルミカーテンレール（シングル）設置			
	部分カーテン及び遮光カーテン設置		部分カーテン及び遮光カーテン設置			
符号	<div>AW5</div> アルミ製建具（一部改修）	1か所	<div>AW6</div> <div>AW7</div> アルミ製建具（一部改修）	各1か所	<div>AW8</div> <div>AW9</div> アルミ製建具（一部改修）	各1か所
姿図						
材料	アルミ製		アルミ製		アルミ製	
場所	なかよし2-2		図工室		支援センター、なかよし学習室3-1	
ガラス	部分既存ガラス撤去		部分既存ガラス撤去→一部強化ガラスt4改修		部分既存ガラス撤去→一部強化ガラスt4改修	
金物						
備考	部分アルミパネルt3.0設置		部分アルミパネルt3.0設置		部分アルミパネルt3.0設置	
	----- 部分アルミカーテンレール（シングル）設置		----- 部分アルミカーテンレール（シングル）設置		----- 部分アルミカーテンレール（シングル）設置	
	部分カーテン及び遮光カーテン設置		部分カーテン及び遮光カーテン設置		部分カーテン及び遮光カーテン設置	

符号	<div>AW10</div> アルミ製建具（一部改修）	2か所	<div>AW11</div> <div>AW12</div> アルミ製建具（一部改修）	各1か所	
姿図					
材料	アルミ製		アルミ製		
場所	5年学習室、多目的教室		第2家庭科室		
ガラス	部分既存ガラス撤去→一部強化ガラスt4改修		部分既存ガラス撤去→一部強化ガラスt4改修		
金物					
備考	部分アルミパネルt3.0設置		部分アルミパネルt3.0設置		
	----- 部分アルミカーテンレール（シングル）設置		----- 部分アルミカーテンレール（シングル）設置		
	部分カーテン及び遮光カーテン設置		部分カーテン及び遮光カーテン設置		
符号	<div>AW13</div> <div>AW14</div> アルミ製建具（一部改修）	各1か所			
姿図					
材料	アルミ製				
場所	理科室				
ガラス	部分既存ガラス撤去→一部強化ガラスt4改修				
金物					
備考	部分アルミパネルt3.0設置				
	----- 部分アルミカーテンレール（シングル）設置				
	部分カーテン及び遮光カーテン設置				

空調基礎1、2部分詳細図1/50

空調基礎3部分詳細図1/50

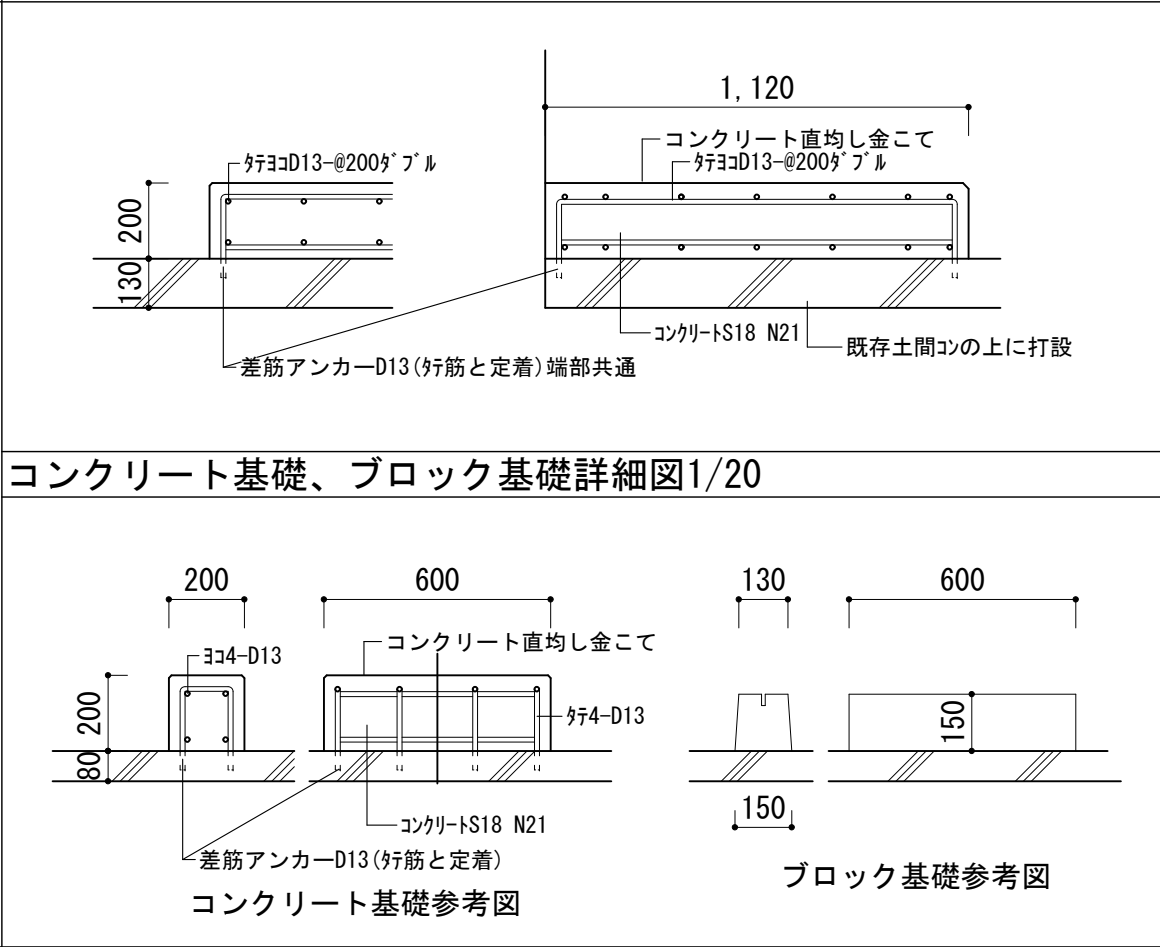
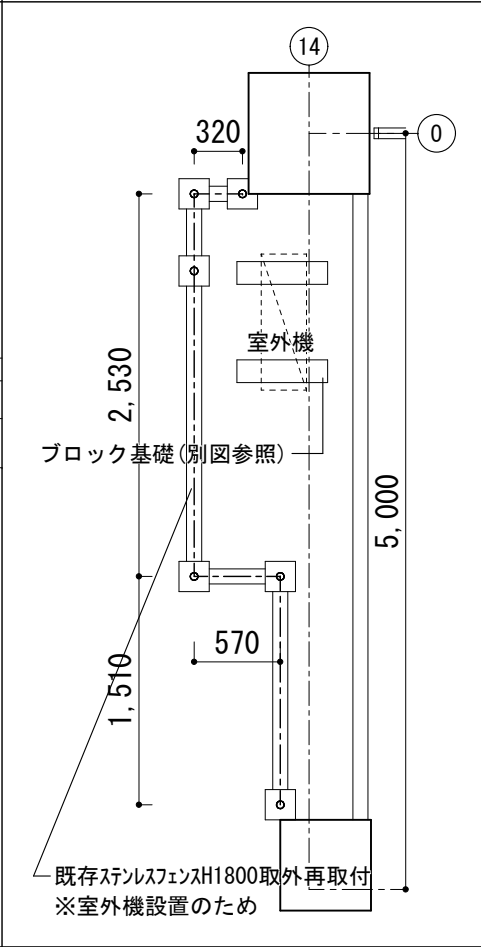
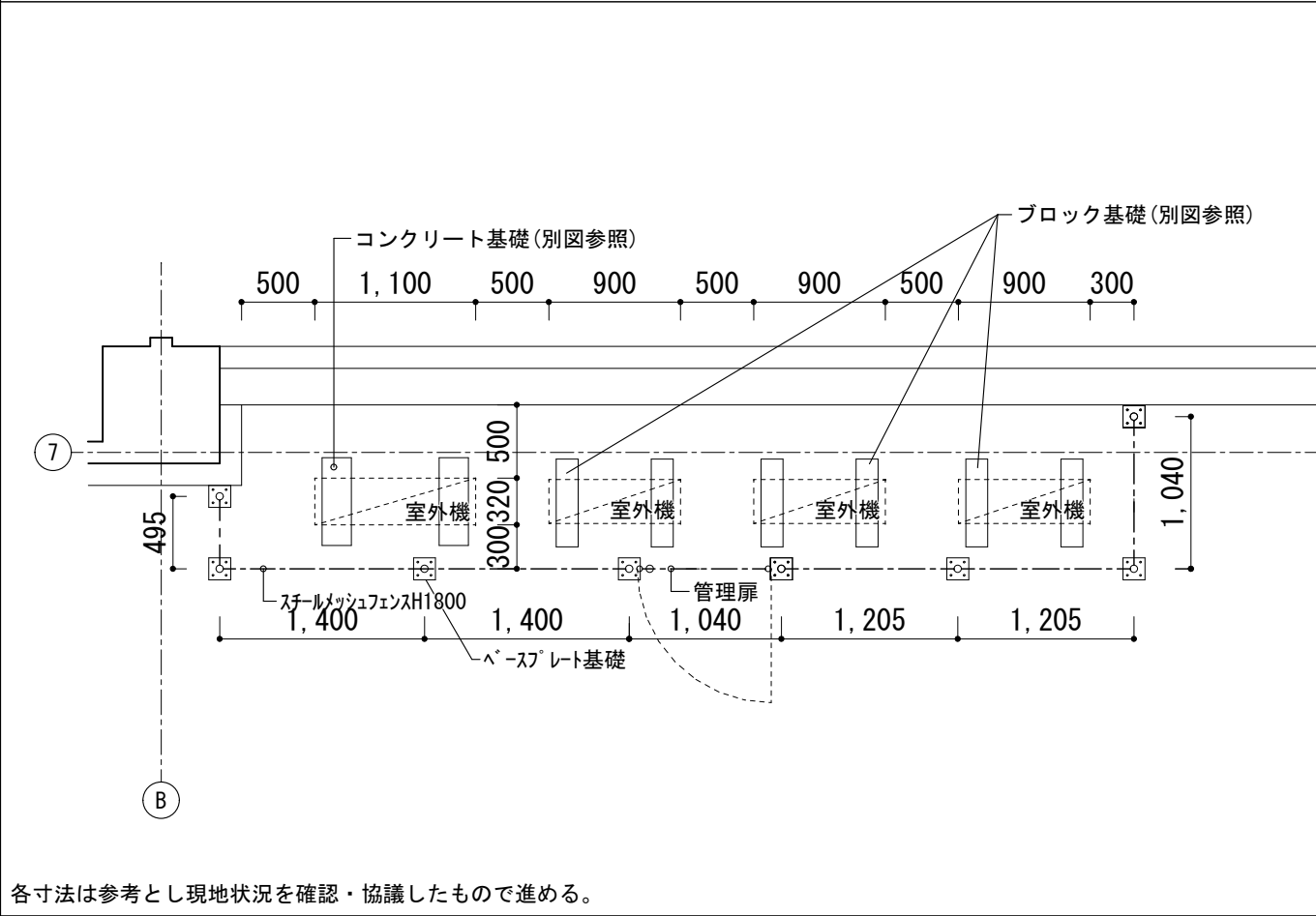
空調基礎4部分詳細図1/50

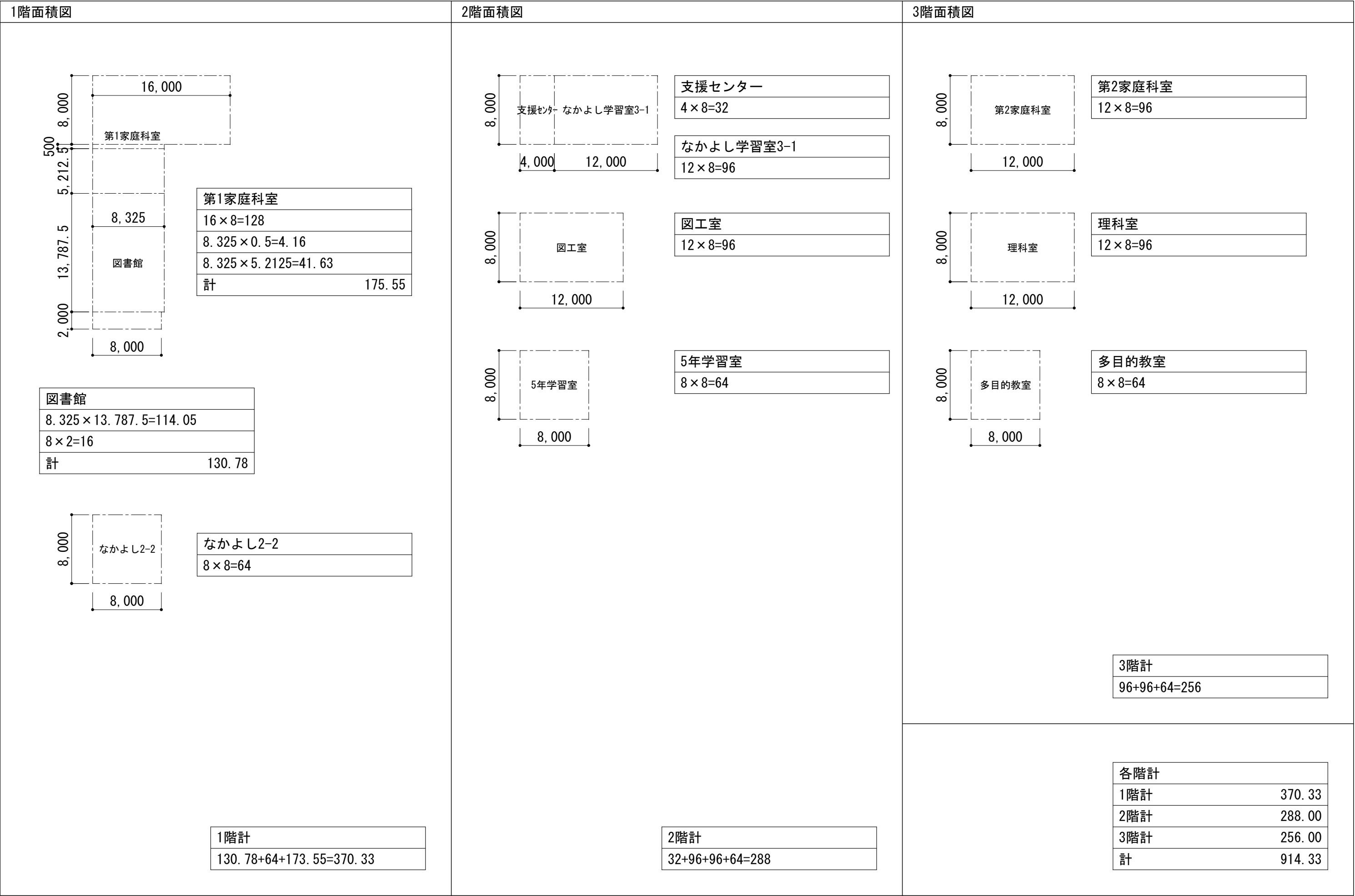


空調基礎5部分詳細図1/50

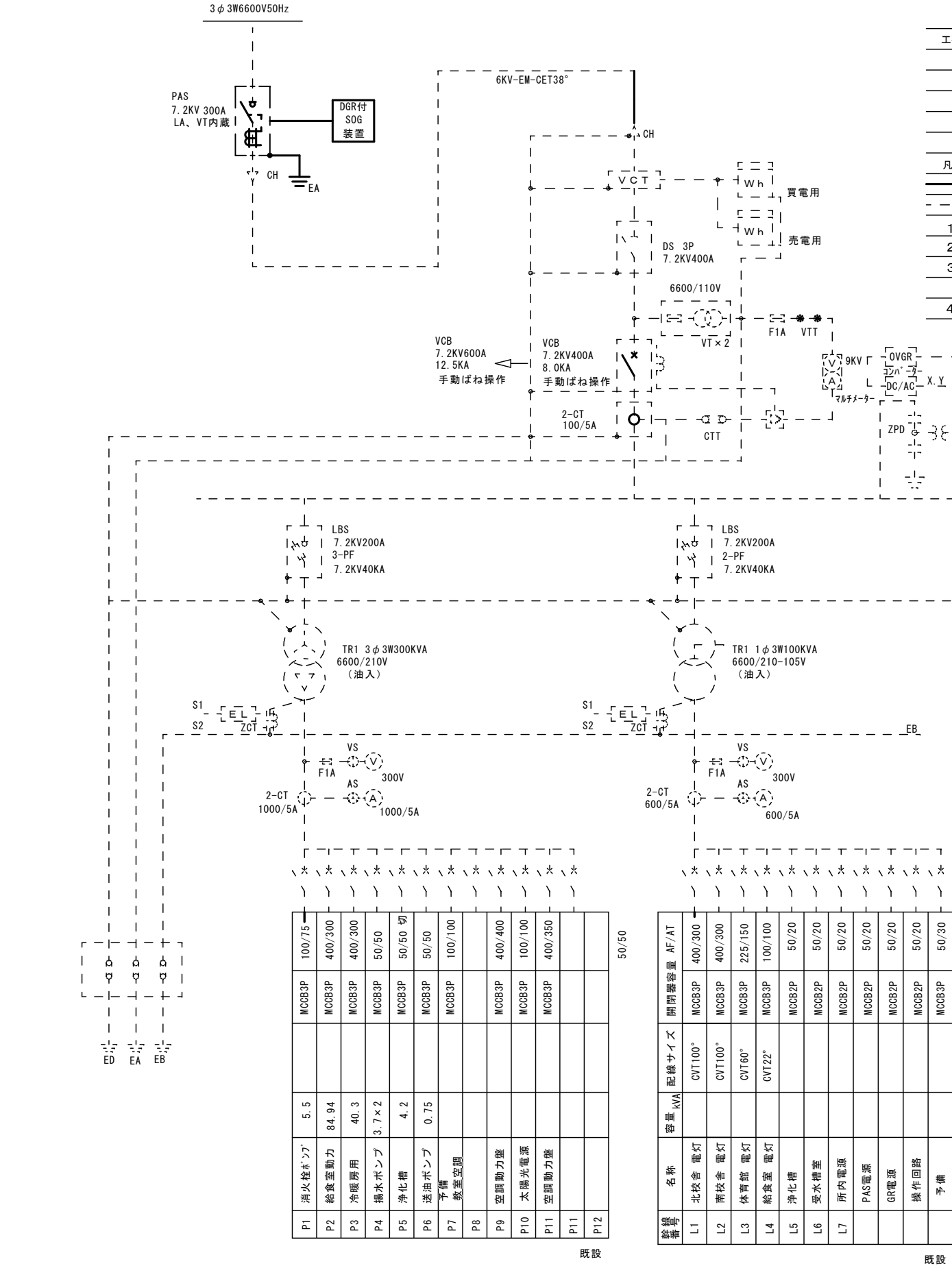
空調基礎6部分詳細図1/50

コンクリート盤基礎詳細図1/20

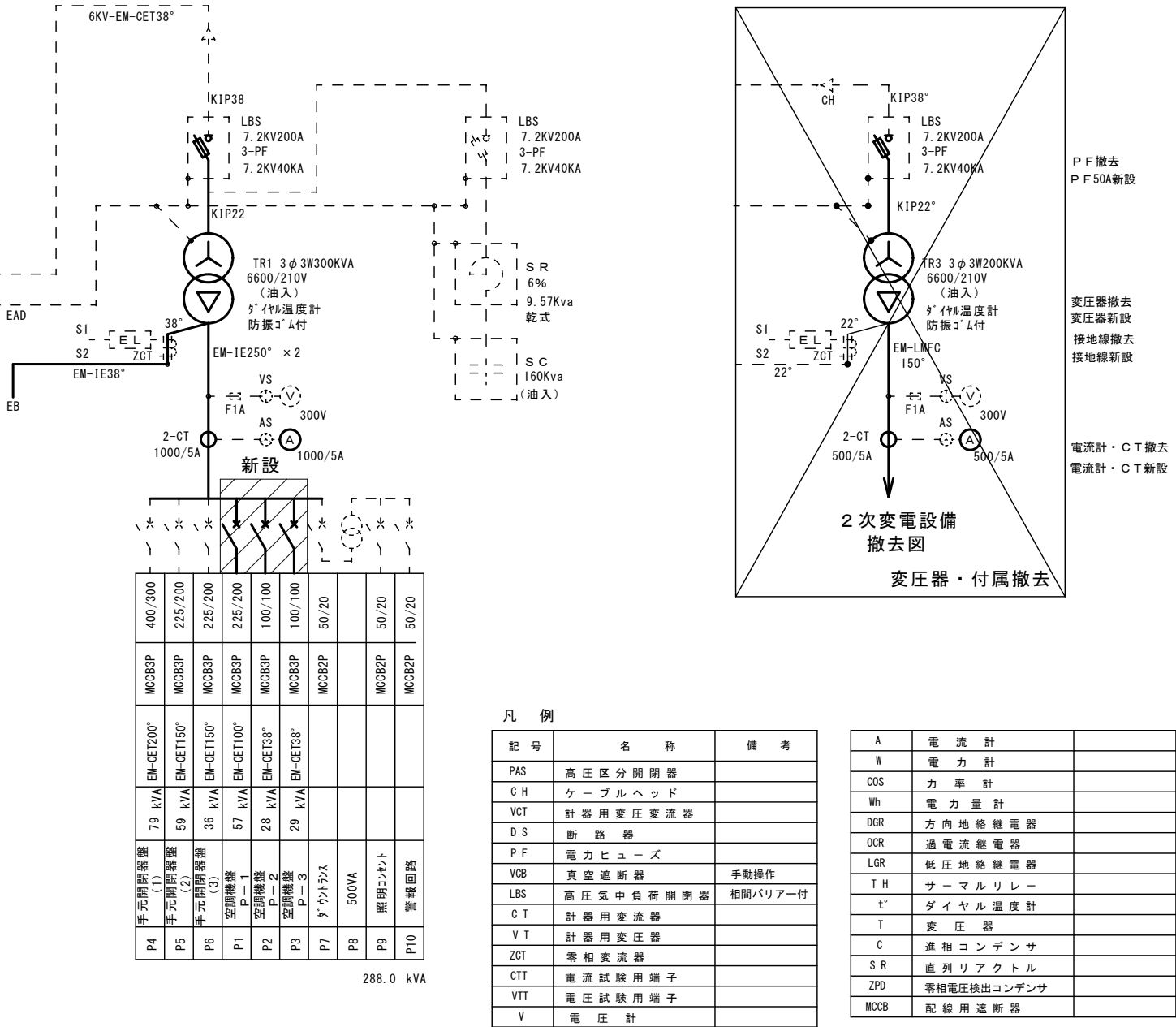
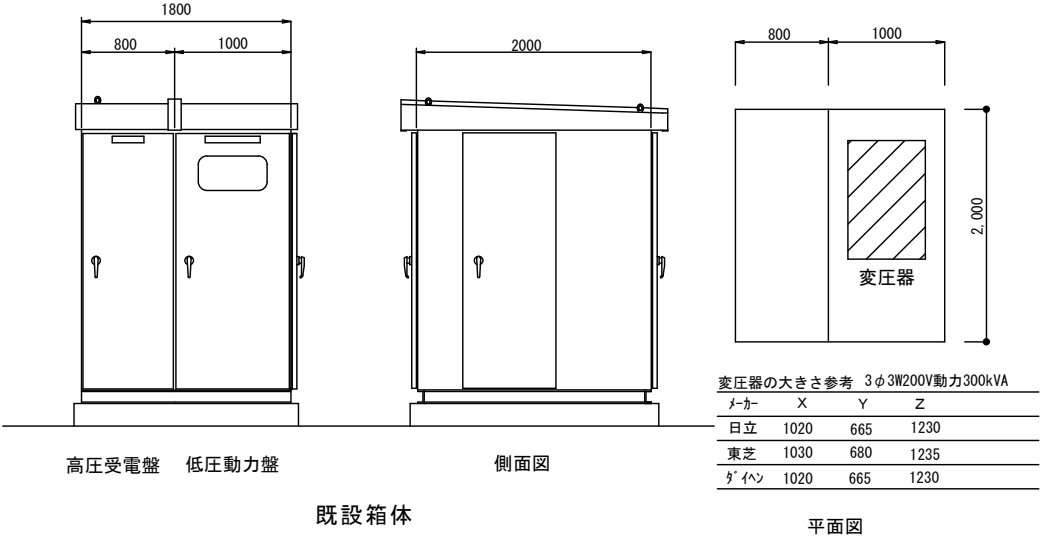


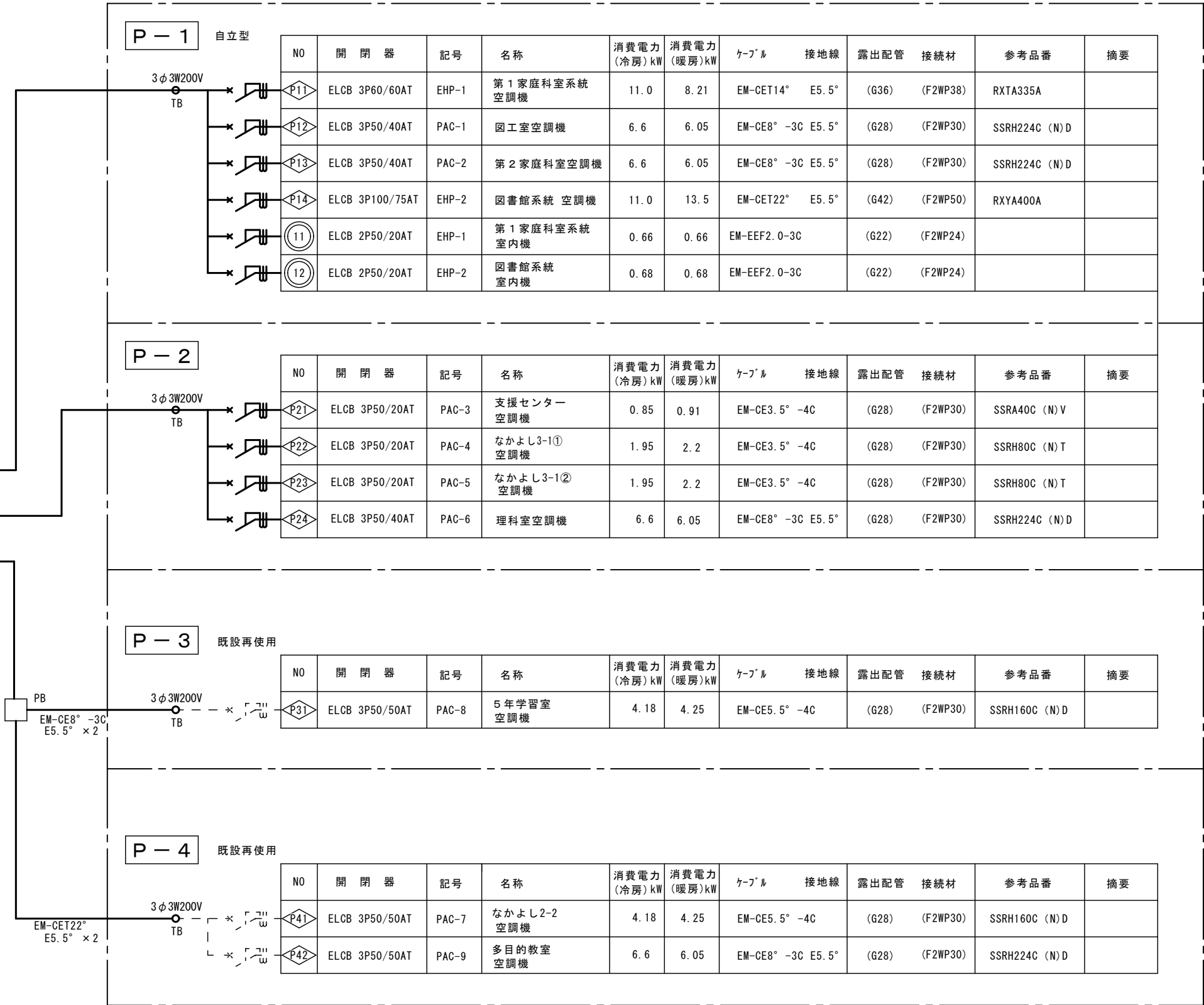
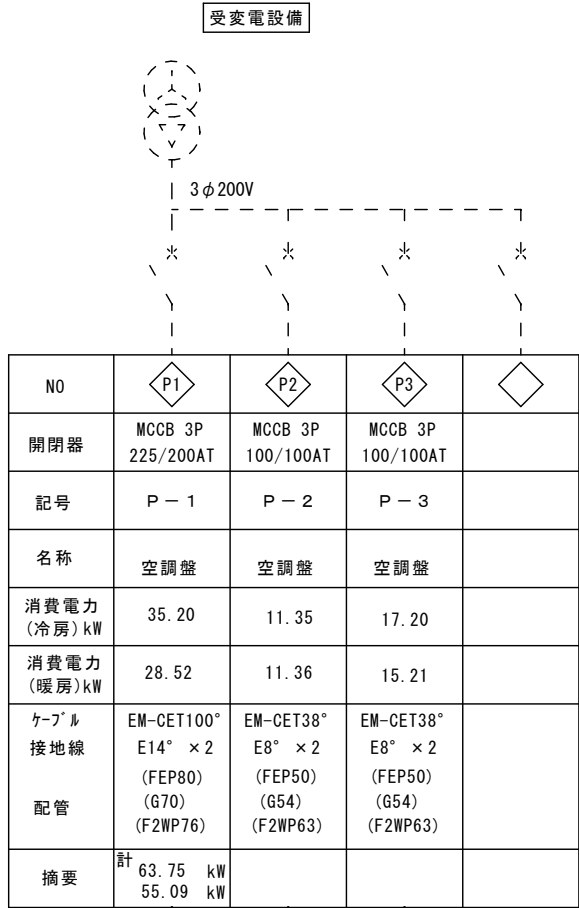


[illegible]



- 工事概要
- 2次変電設備内 動力変圧器200kVAを撤去し 動力変圧器300kVAを新設する。
- 変圧器改修に伴い電線・変流器・電流計・限流ヒューズ等 取替を行う。
- 空調用配線用遮断器の新設を行う。 換気扇を取り付ける。
- 1次側変電設備内 変圧器改修に伴い機器等の 取替を行う。
- 総合試験一式を行う。
- 凡例
- 改修対象機器類を示す。
- - - 既設 対象外機器類を示す。
1. 耐震仕様は特記仕様書による
2. 「高圧危険」等の表示板の取付をおこなう。
3. 総容量 700kVA 東京電力 契約電力 385kW
- 消防設備 申請設備容量 525kW
4. 10形消火器（ステンス箱入り）の設置を行う。





注記（各盤共通）

1. 図中記号は、下記による。

1

回路盤号 AC-3φ2W-200Vを示す。

1

回路盤号 AC-3φ3W-200Vを示す。

2. 特記なき分電盤は、屋外防水形壁掛ステンレス製とする。

3. 分電盤の塗装は、指定色とする。

4. 凡例

—x—

配線用ブレーカー

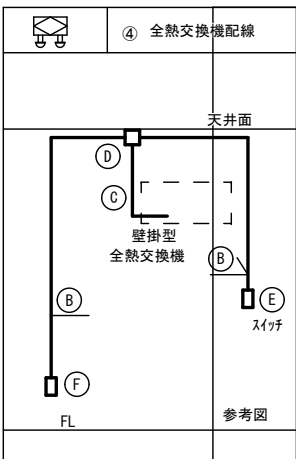
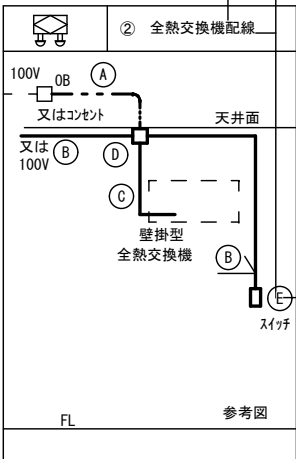
—x—

漏電ブレーカー

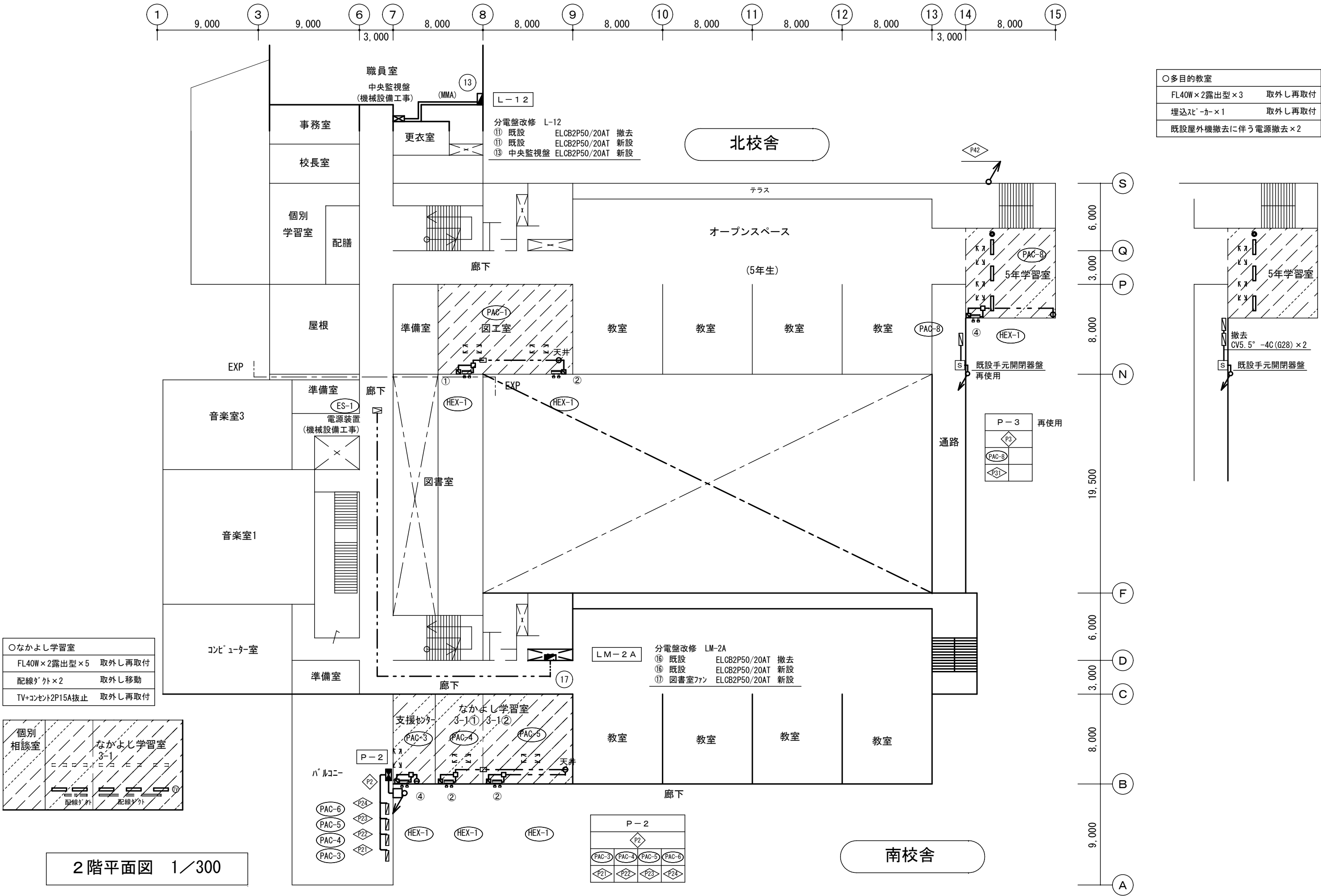
5. ELCB回路がある分電盤は、専用接地座を取付る。

6. 破線は受変電設備別図参照。

○なかよし 2-3	
FL40W×2露出型×3	取外し再取付
埋込ｽﾍﾞｰｶｰ×1	取外し再取付
既設屋外機撤去に伴う電源撤去	

[illegible]

国府小学校特別教室等空調設備整備工事

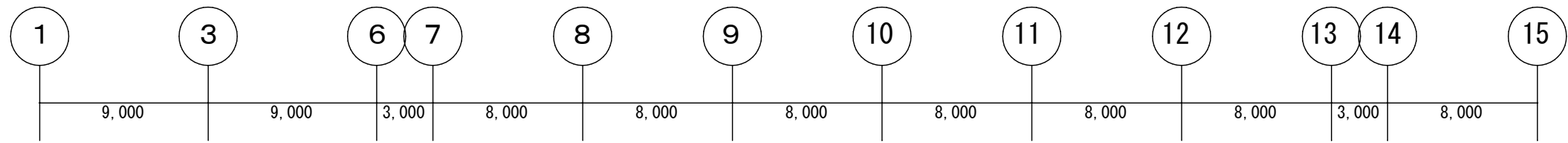


○多目的教室		
FL40W×2露出型×3	取外し再取付	
埋込スイッチ×1	取外し再取付	
既設屋外機撤去に伴う電源撤去×2		

○なかよし学習室		
FL40W×2露出型×5	取外し再取付	
配線ダクト×2	取外し移動	
TV+コンセント2P15A抜止	取外し再取付	

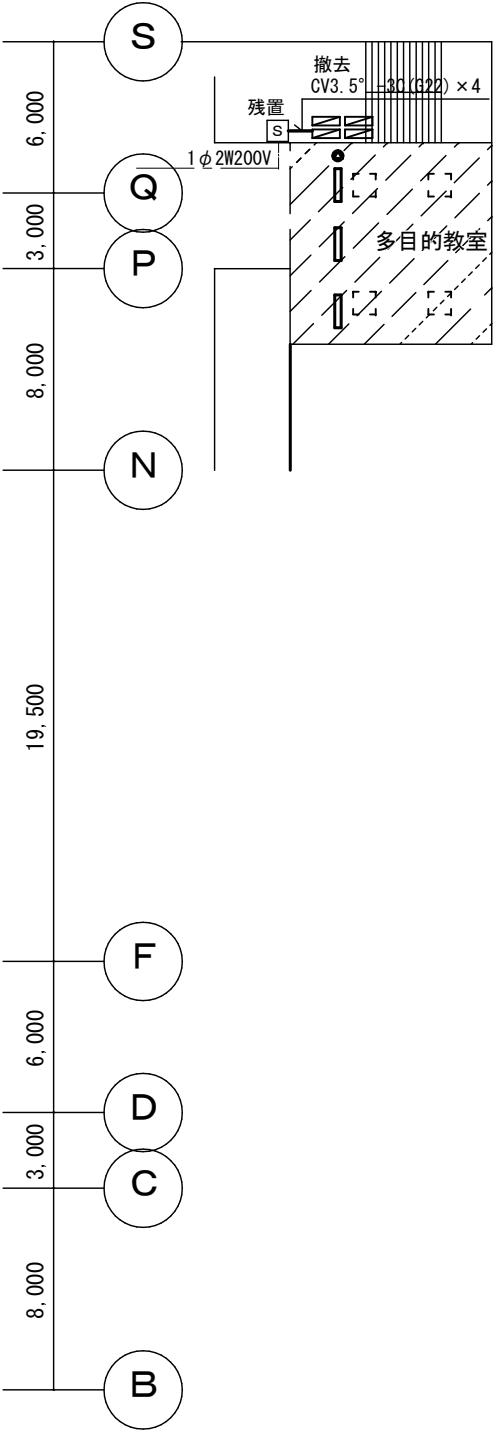
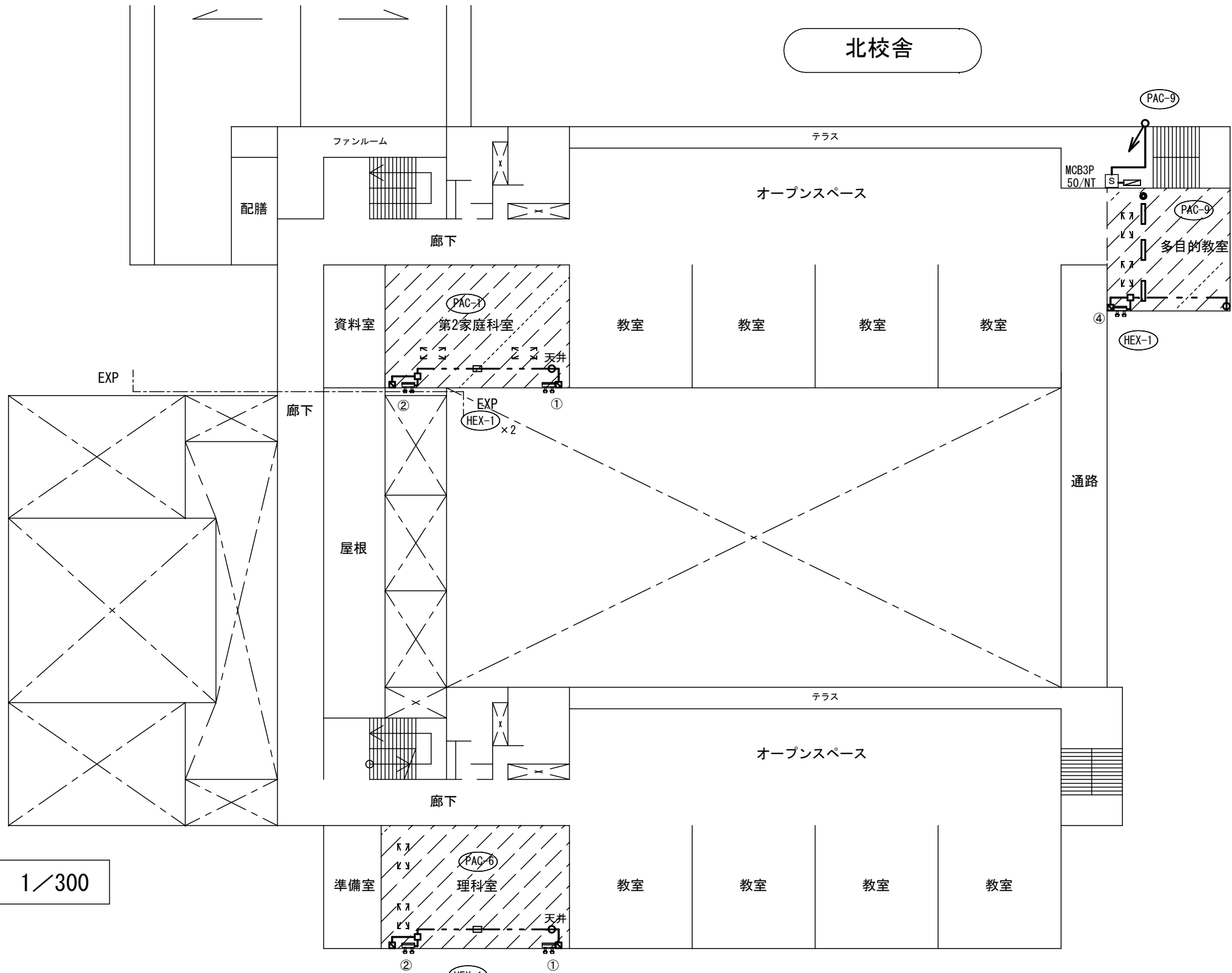
個別 相談室	なかよし学習室 3-1
配線ダクト	配線ダクト

2階平面図 1/300



○多目的教室	
FL40W×2露出型×3	取外し再取付
埋込スイッチ×1	取外し再取付
既設屋外機撤去に伴う電源撤去×4	

北校舎



3階平面図 1/300

南校舎

空調機器表

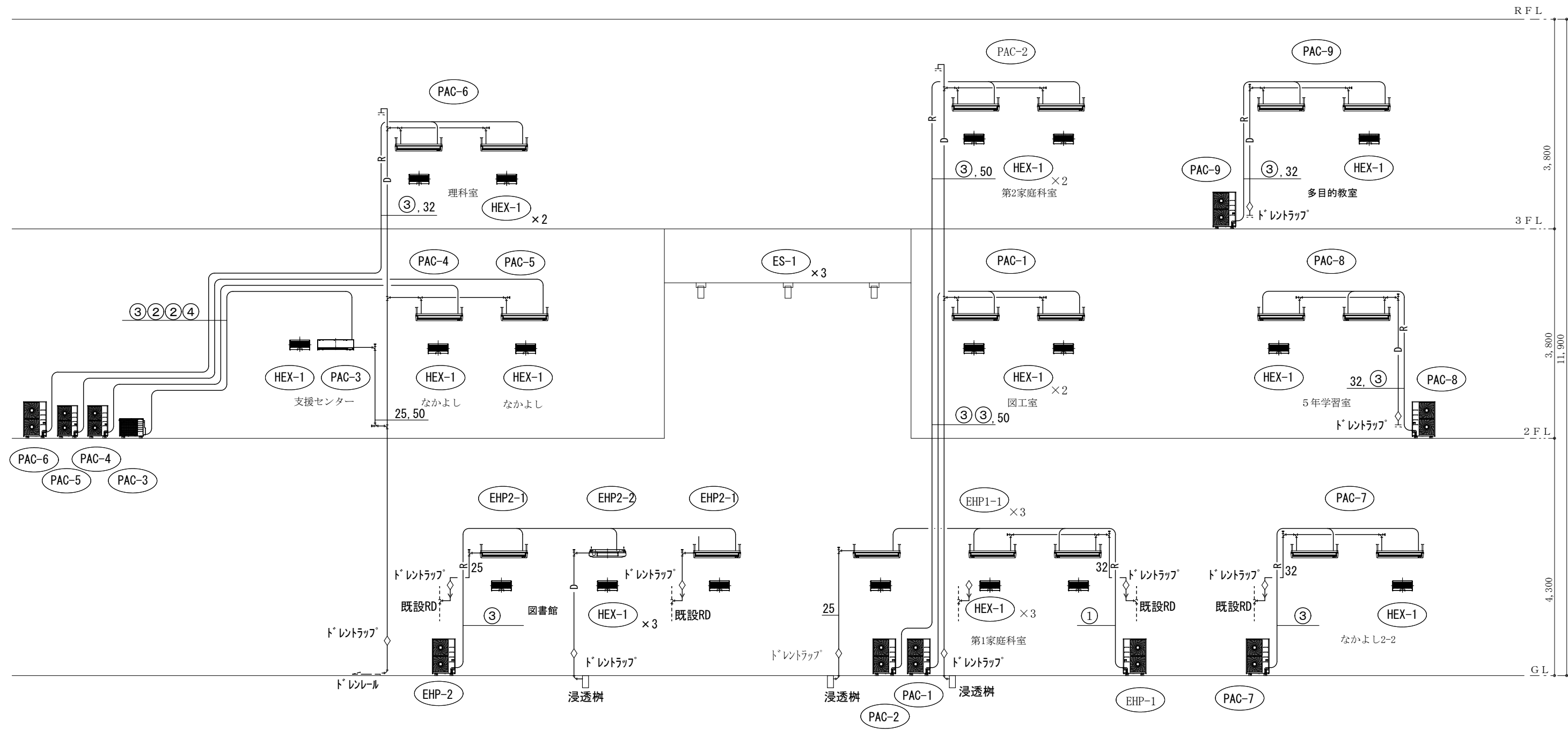
機器番号	機器名称 (系統名)	型式	室 外 機										室 内 機														非常電源	インターロック・連動	遠 方			冷媒配管 ガス・液	コンクリート基礎	防振装置 G:ゴム S:ｽﾌﾟﾘﾝｸﾞ P:ｽﾃｰｼｮﾅﾘｰ	(型番)備考
			設置階	台数	冷房能力 KW/H	吸込空気温度	暖房能力 KW/H	吸込空気温度	送風機 (下段ﾌｵｲﾙﾀｰ付) KW	圧縮機	電源		起動方式	設置階	台数	冷房能力 KW/H	吸込空気温度	暖房能力 KW/H	吸込空気温度	送 風 機			ヒーター	電源		起動方式			外気量 m³/h	加湿量 kg/h	フィルター				
											相	電圧								送風量 m³/h	機外静圧 Pa	出力 W		相	電圧										
EHP-1	第1家庭科室系統屋外機	マチマルチ空調機屋外機 (塩害仕様・ﾌｵｲﾂﾌｨﾙﾀｰ付)	屋外(1F)	1	31.5	JIS	31.5	JIS	0.26×2 (消費電力)	9.87×1 11.0KW	3	200	直入	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	25.4φ-12.7φ	200	S	参考型番 (ﾀｲﾎﾝ: RXTA335A相当) 1100W*360D*1615H 165kg		
EHP1-1	第1家庭科室空調機	天吊1方向屋内機	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	9.0	JIS	10.0	JIS	1,020	-	150	-	1	200	直入 (消費電力・219W)	-	-	-	15.88φ-9.52φ	-	G	参考型番 (ﾀｲﾎﾝ: FXYHA90AA相当) 1550W*690D*235H 40kg		
EHP-2	図書館系統屋外機	ビル用マルチ空調機屋外機 (塩害仕様・ﾌｵｲﾂﾌｨﾙﾀｰ付)	屋外(1F)	1	40.0	JIS	45.0	JIS	0.42×2 (消費電力)	12.1×1 13.5KW	3	200	直入	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	25.4φ-12.7φ	200	S	参考型番 (ﾀｲﾎﾝ: RXTA335A相当) 1240W*765D*1660H 271kg		
EHP2-1	図書館空調機1	天吊1方向屋内機	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	11.2	JIS	12.5	JIS	1,440	-	150	-	1	200	直入 (消費電力・238W)	-	-	-	15.88φ-9.52φ	-	G	参考型番 (ﾀｲﾎﾝ: FXYHA112AA相当) 1550W*690D*235H 42kg		
EHP2-2	図書館空調機2	天吊4方向屋内機	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	11.2	JIS	12.5	JIS	1,560	-	106	-	1	200	直入 (消費電力・200W)	-	-	-	15.88φ-9.52φ	-	G	参考型番 (ﾀｲﾎﾝ: FXYUA112AA相当) 1550W*690D*235H 42kg		
PAC-1	図工室空調機 (ツイン型)	天吊1方向屋内機 (塩害仕様)	屋外(1F)	1	20.0	JIS	22.4	JIS	0.227+0.227 (消費電力)	4.52	3	200	直入	2	2	10.0	JIS	11.2	JIS	1,440	-	150	-	-	-	-	-	-	-	(15.9φ-9.5φ) ×2 25.4φ-9.52φ	200	P	参考型番 (ﾀｲﾎﾝ: SSRH224C (N)D相当) 外)940W*320D*1,430H 123kg 内)1,590W*690D*235H 40kg		
PAC-2	第2家庭科室空調機 (ツイン型)	天吊1方向屋内機 (塩害仕様)	屋外(1F)	1	20.0	JIS	22.4	JIS	0.227+0.227 (消費電力)	4.52	3	200	直入	3	2	10.0	JIS	11.2	JIS	1,440	-	150	-	-	-	-	-	-	-	(15.9φ-9.5φ) ×2 25.4φ-9.52φ	200	P	参考型番 (ﾀｲﾎﾝ: SSRH224C (N)D相当) 外)940W*320D*1,430H 123kg 内)1,590W*690D*235H 40kg		
PAC-3	支援センター空調機 (ペア型)	壁掛型屋内機 (塩害仕様)	屋外(2F)	1	3.6	JIS	4.0	JIS	0.05 (消費電力)	0.59	3	200	直入	2	1	3.6	JIS	4.0	JIS	540	-	30	-	-	-	-	-	-	-	12.7φ-6.4φ	200	P	参考型番 (ﾀｲﾎﾝ: SSRA40C (N)V相当) 外)795W*300D*610H 41kg 内)795W*238D*290H 10kg		
PAC-4	なかよし3-1①空調機 (ペア型)	天吊1方向屋内機 (塩害仕様)	屋外(2F)	1	7.1	JIS	8.0	JIS	0.084 (消費電力)	1.29	3	200	直入	2	1	7.1	JIS	8.0	JIS	1,080	-	0.091	-	-	-	-	-	-	-	15.9φ-9.5φ	200	P	参考型番 (ﾀｲﾎﾝ: SSRH80C (N)T相当) 外)940W*320D*990H 66kg 内)1,270W*690D*235H 31kg		
PAC-5	なかよし3-1②空調機 (ペア型)	天吊1方向屋内機 (塩害仕様)	屋外(2F)	1	7.1	JIS	8.0	JIS	0.084 (消費電力)	1.29	3	200	直入	2	1	7.1	JIS	8.0	JIS	1,080	-	0.091	-	-	-	-	-	-	-	15.9φ-9.5φ	200	P	参考型番 (ﾀｲﾎﾝ: SSRH80C (N)T相当) 外)940W*320D*990H 66kg 内)1,270W*690D*235H 31kg		
PAC-6	理科室空調機 (ツイン型)	天吊1方向屋内機 (塩害仕様)	屋外(2F)	1	20.0	JIS	22.4	JIS	0.227+0.227 (消費電力)	4.52	3	200	直入	3	2	10.0	JIS	11.2	JIS	1,440	-	150	-	-	-	-	-	-	-	(15.9φ-9.5φ) ×2 25.4φ-9.52φ	200	P	参考型番 (ﾀｲﾎﾝ: SSRH224C (N)D相当) 外)940W*320D*1,430H 123kg 内)1,590W*690D*235H 40kg		
PAC-7	1Fなかよし2-2空調機 (ツイン型)	天吊1方向屋内機 (塩害仕様)	屋外(1F)	1	14.0	JIS	16.0	JIS	0.11+0.11 (消費電力)	12.83	3	200	直入	1	2	7.1	JIS	8.0	JIS	1,080	-	91	-	-	-	-	-	-	-	(15.9φ-9.5φ) ×2 15.9φ-9.52φ	200	P	参考型番 (ﾀｲﾎﾝ: SSRH160C (N)D相当) 外)940W*320D*1,430H 90kg 内)1,270W*690D*235H 31kg		
PAC-8	2F5年学習室空調機 (ツイン型)	天吊1方向屋内機 (塩害仕様)	屋外(2F)	1	14.0	JIS	16.0	JIS	0.11+0.11 (消費電力)	2.83	3	200	直入	2	2	7.1	JIS	8.0	JIS	1,080	-	91	-	-	-	-	-	-	-	(15.9φ-9.5φ) ×2 15.9φ-9.52φ	200	P	参考型番 (ﾀｲﾎﾝ: SSRH160C (N)D相当) 外)940W*320D*1,430H 90kg 内)1,270W*690D*235H 31kg		
PAC-9	3F多目的室空調機 (ツイン型)	天吊1方向屋内機 (塩害仕様)	屋外(3F)	1	20.0	JIS	22.4	JIS	0.227+0.227 (消費電力)	4.52	3	200	直入	3	2	10.0	JIS	11.2	JIS	1,440	-	150	-	-	-	-	-	-	-	(15.9φ-9.5φ) ×2 25.4φ-9.52φ	200	P	参考型番 (ﾀｲﾎﾝ: SSRH224C (N)D相当) 外)940W*320D*1,430H 123kg 内)1,590W*690D*235H 40kg		
ITC-1	中央監視盤	ｲﾝﾃﾘｼﾞｪﾝﾄﾀｯﾁｺﾝﾄﾚｰﾙ																															参考型番 (ﾀｲﾎﾝ: DCL401B1相当)		

換気機器表

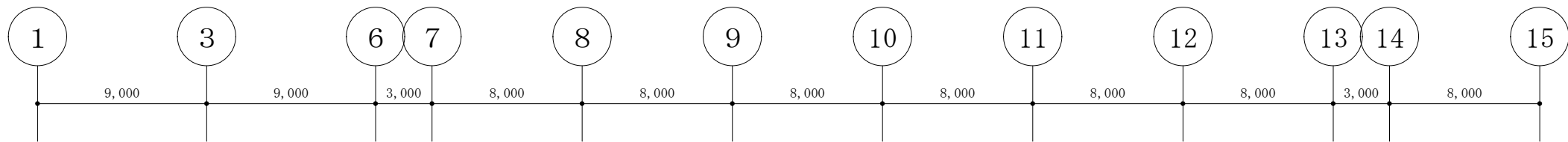
機器番号	機 器 名 称 〔 系 統 名 〕	設 置 階	台 数	機器仕様				電動機（５０ＨＺ）						イ タ ー ロ ック ・ 連 動	遠 方			運 転 方 法 (電 気 工 事)	防振装置 G:ゴム S:ｽﾌﾟﾘﾝｸﾞ P:ｽﾃｰｼｮﾅﾘｰ	備 考 (参考型番)		
				型 式	消音ボ ックス	据 付	番 手	風量 m³／h	静圧 Pa	動力 (参考値) W	相 φ	電圧 V	極 数P		起 動 方 式	非常 電源	発 停				運 転 故 障 表 示	警 報
HEX-1	空 調 換 気 扇	1	7	壁掛型全熱交換器	—	Ⓔ	75φ×2	75	30	33.0	1	100	—	直 入	—	—	○	○	○	㊦	P	(三菱:VL-16EU3相当) 24時間スイッチ付
		2	6																			
		3	5																			
ES-1	エ ア ー 循 環 フ ァ ン	1	3	天 吊 型 コントロールSW×2 直流電源装置×2	—	Ⓐ	—	384	8m	14.4	1	100	—	直 入	—	—	—	—	—	㊦	—	(エシールフィー F-170RT相当)

※全ての空調屋内機はｲﾝﾃﾘｼﾞｪﾝﾄｺﾝﾄﾚｰﾙに接続可能なﾌﾞﾗﾞﾞｰを付属とする。
※EHP屋内機には1対1でﾌ｜ｲｰﾄﾞﾘﾓﾝ付とする。
※PACIには屋外機台数1台に付き屋内機に1個のﾌ｜ｲｰﾄﾞﾘﾓﾝ付とする。
※屋外機には『転倒防止ﾌ｜ｲｰ』を付属。
※空調機は公共建築仕様とする
※『空調機付属ﾌｵｲﾂﾌｨﾙﾀｰ』の無い機器は、『別置きﾌｵｲﾂﾌｨﾙﾀｰ』付とする。

								国府小学校特別教室等空調設備整備工事				設備名称 空調換気設備 機器表I				日付	図面番号 M-02
												版次 N/S				検定	区分
																. . .	



空調配管系統図

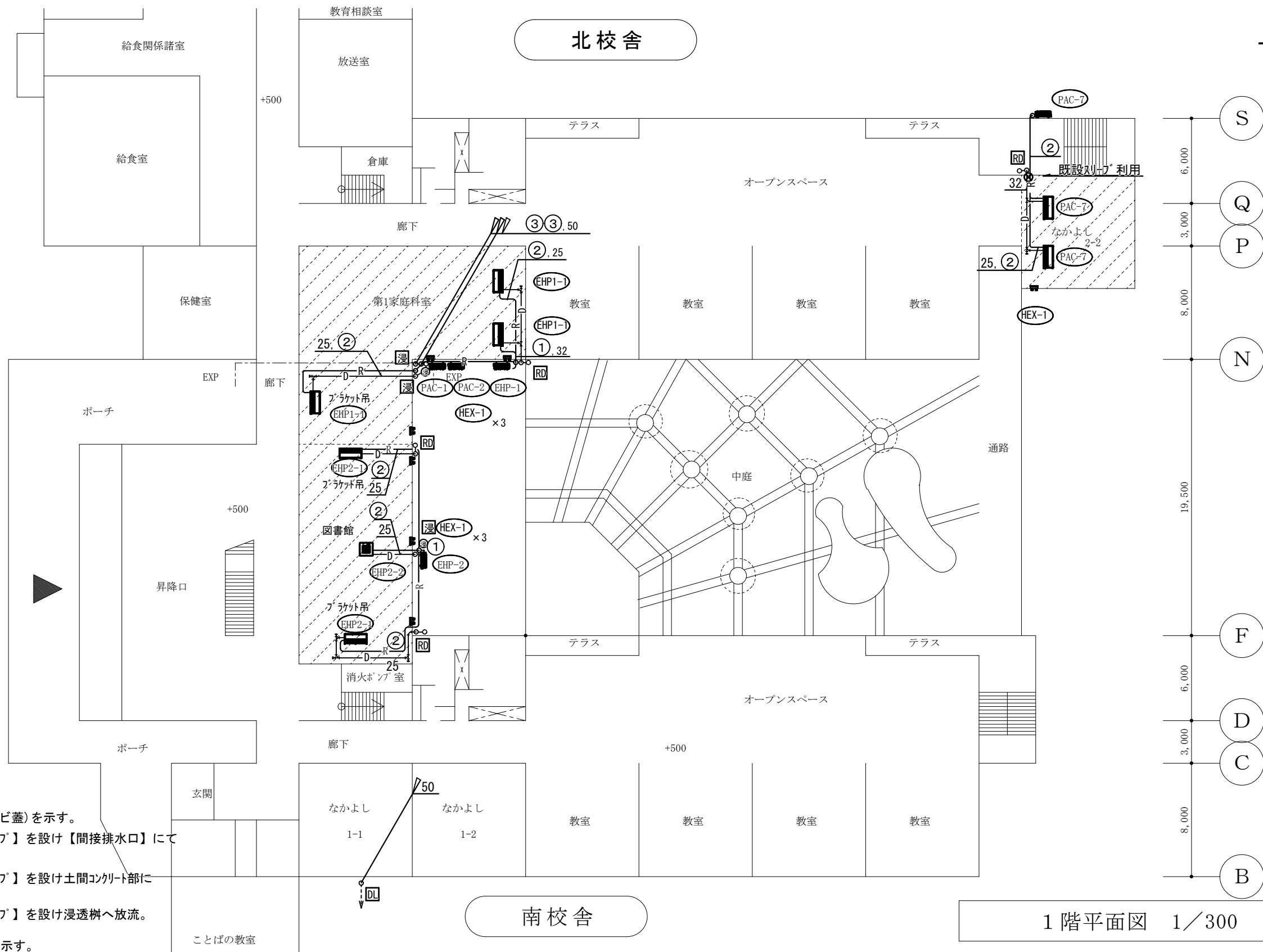
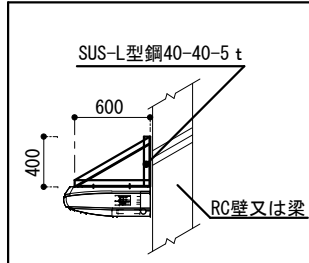


1階

冷媒管リスト

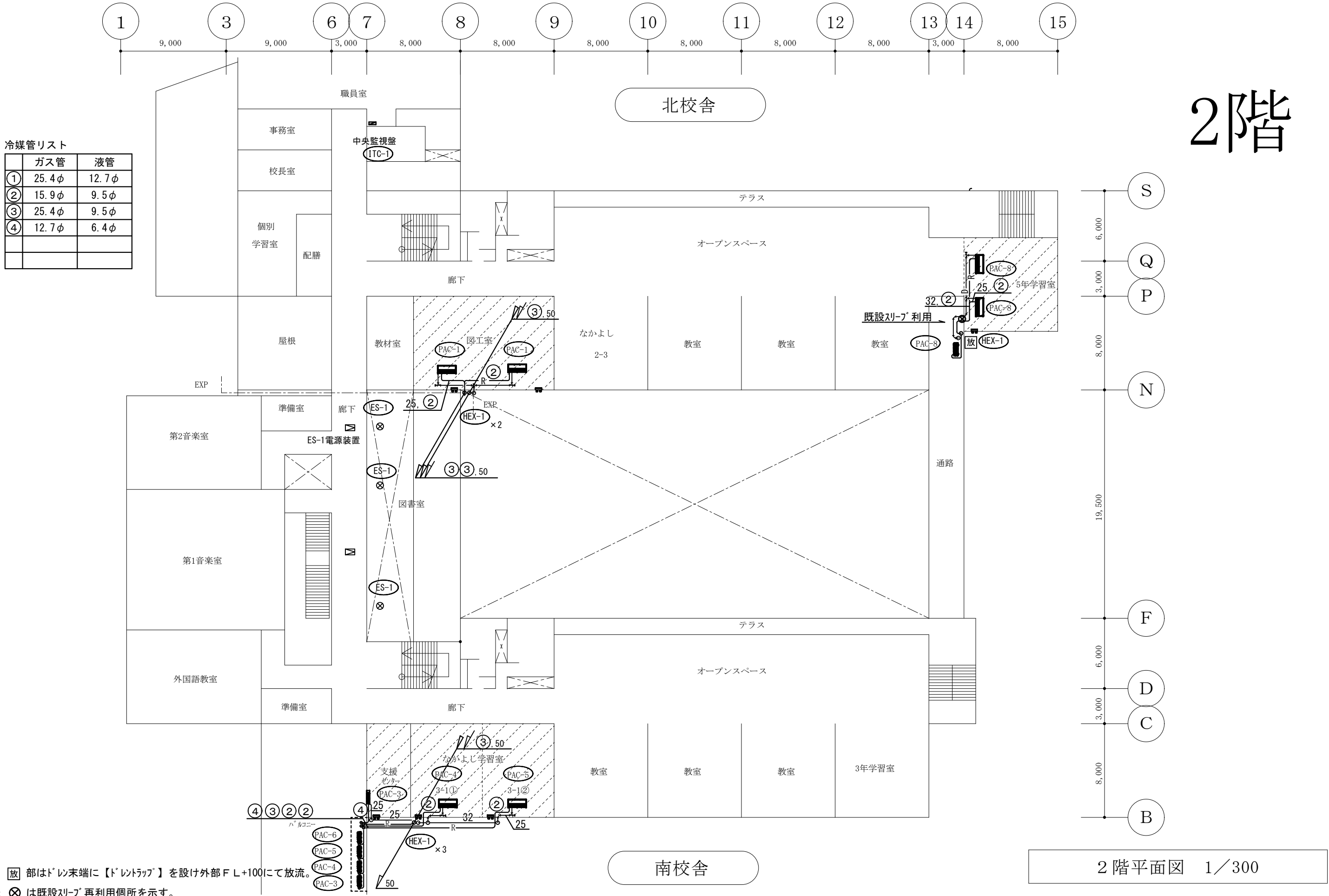
	ガス管	液管
①	25.4φ	12.7φ
②	15.9φ	9.5φ
③	25.4φ	9.5φ
④	12.7φ	6.4φ

天吊空調機フック吊参考図



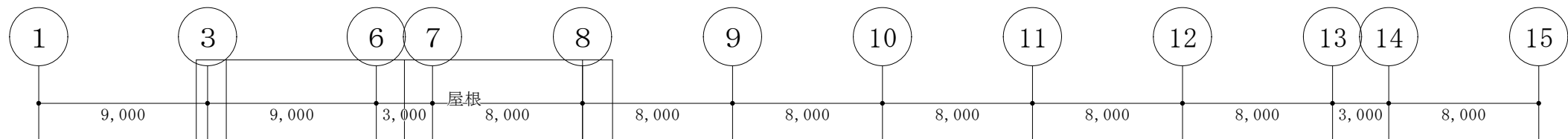
- ※：② は浸透櫛 (200φ-500H-塩ビ蓋) を示す。
- ※：RD 部はドレン末端に【ドレントラップ】を設け【間接排水口】にて最寄100φルーフドレンへ接続。
- ※：DL 部はドレン末端に【ドレントラップ】を設け土間コンクリート部にドレンレールを設へ、放流する。
- ※：② 部はドレン末端に【ドレントラップ】を設け浸透櫛へ放流。(土間解体改修本工程)
- ※：⊗ は既設スリーブ再利用個所を示す。

1 階平面図 1/300



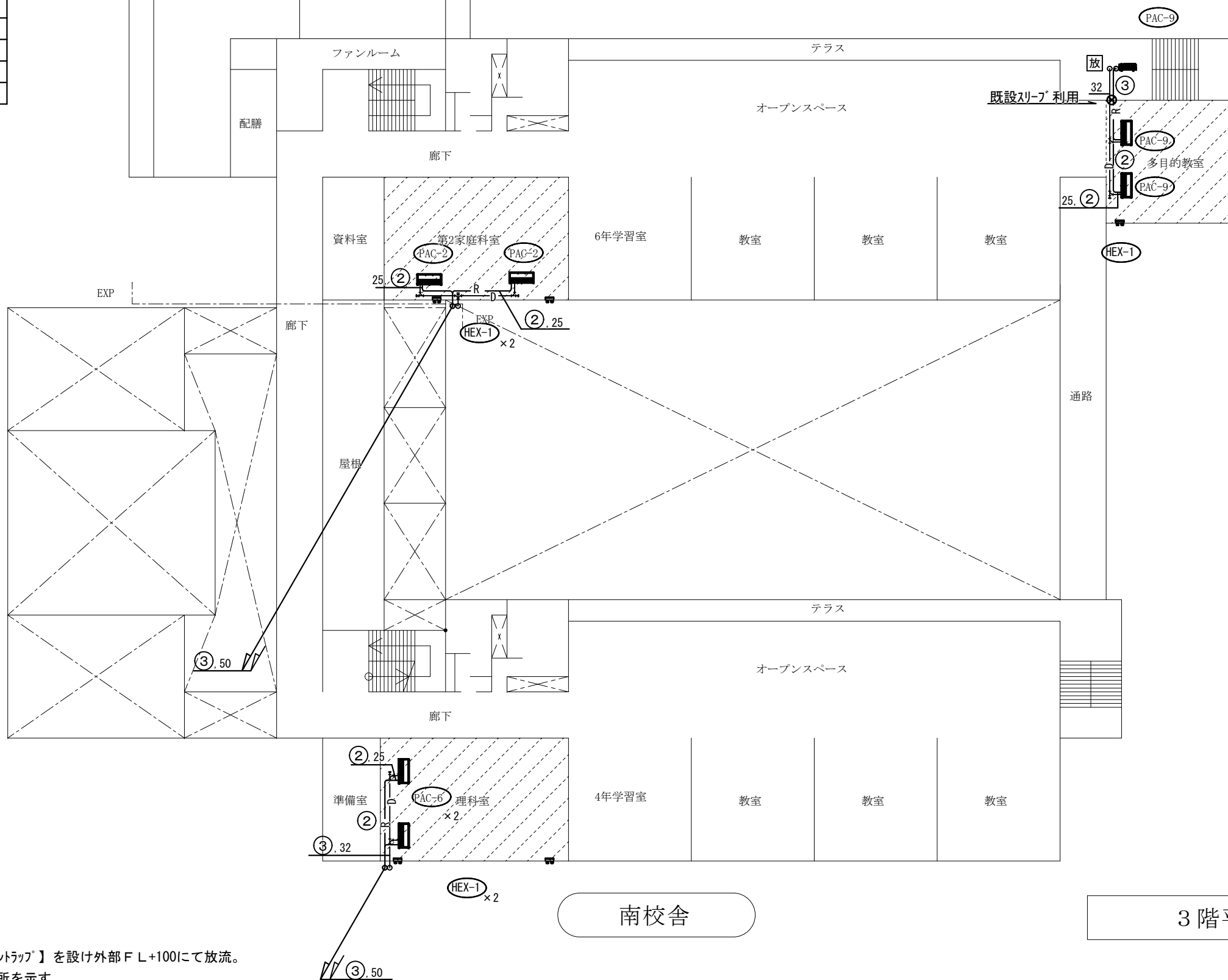
※： 部はドレン末端に【ドレントラップ】を設け外部F L+100にて放流。

※： は既設スリーブ再利用箇所を示す。

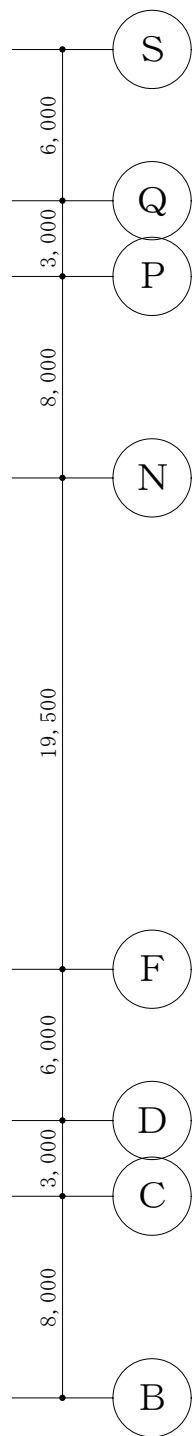


冷媒管リスト

	ガス管	液管
①	25.4φ	12.7φ
②	15.9φ	9.5φ
③	25.4φ	9.5φ
④	12.7φ	6.4φ



3階



南校舎

3 階平面図 1/300

※： 放 部はドレイン末端に【ドレントラップ】を設け外部F.L.+100にて放流。
※： ⊗ は既設スリフ再利用個所を示す。

600

200

小口径樹脂枳 (浸透枳)

枳蓋 (プラスチック製)

▼ GL

目詰まり防止シート (透水性)

砕石

砂

100

500

100

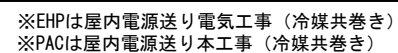
Diagram illustrating the installation of a window-mounted full heat exchanger unit in a classroom.

The diagram shows a room labeled "普通教室" (Ordinary Classroom). The unit is installed on the right wall, labeled "窓枠付全熱交換機 (本工事)" (Window-mounted full heat exchanger unit (Main work)).

Wiring and components shown include:

- EM-CEE1.25[□]-2C (MM-A) (Main wiring)
- コンセント (電気工事) (Outlet (Electrician work))
- 天井面 (Ceiling surface)
- 24時間SW (電気工事へ支給) (24-hour switch (Supplied to electrician work))
- 電気工事基準 (Electrician work standard)
- FL (Floor level)
- 1500 (Dimension, likely height)

注1) 室内機振れ止め取付けは監督員と協議の上決定すること。(共通)



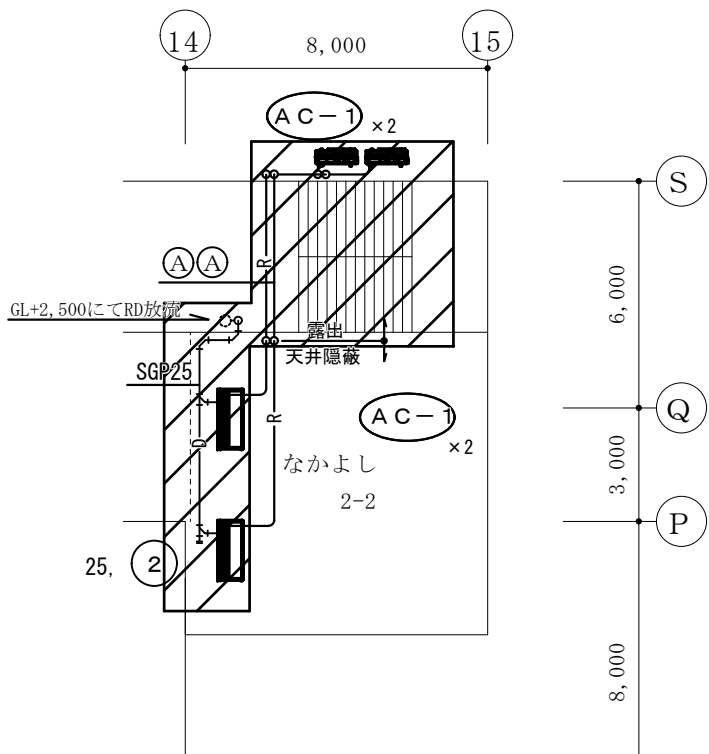
Technical drawing of a cantilever beam fixed to a wall. The beam is labeled "SUS L 形 鋼 40 x 40 x 5 t". It has two circular loads on top, each labeled "Uボルト 又は Uバンド". The distance between the centers of the two loads is 800. The beam is fixed to a wall on the left.

冷媒管リスト


	ガス管	液管
Ⓐ	15.9φ	9.5φ

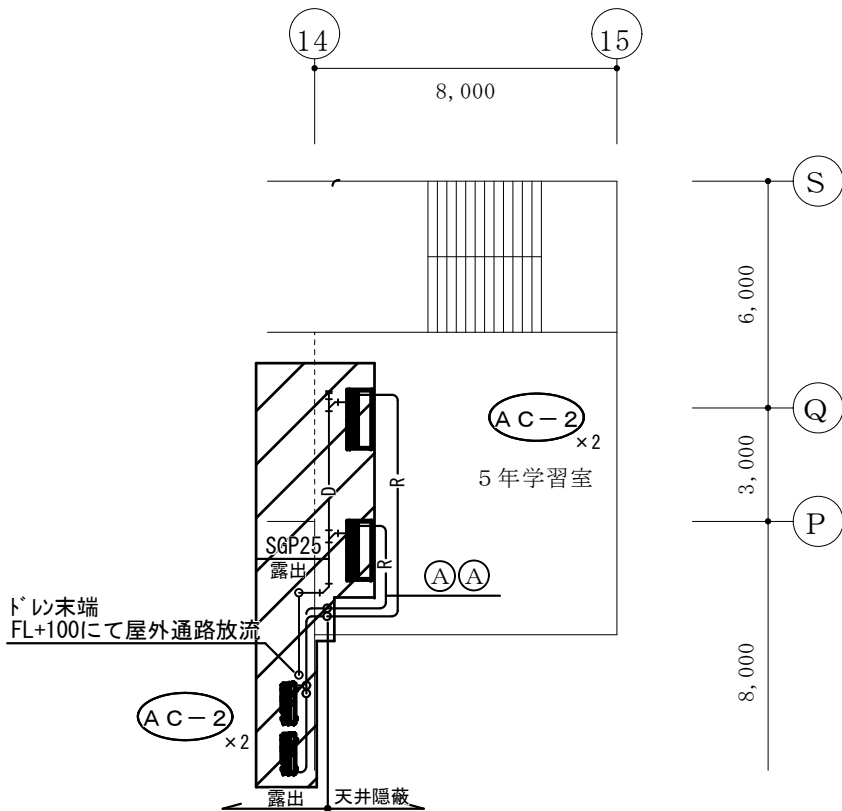
既設空調機器表

記 号	名 称	仕 様	動 力			起動方法	台数	設 置 場 所	備 考
			φ	V	kW				
A C - 1	既 設 空 調 機 1	型式： 天吊シングル型	3	200	2.6	－	2	北棟1階なかよし2-2	
		能力： 冷房：10.0kW 暖房：11.2kW							
A C - 2	既 設 空 調 機 2	型式： 天吊シングル型	3	200	2.6	－	2	北棟2階5年学習室	
		能力： 冷房：10.0kW 暖房：11.2kW							
A C - 3	既 設 空 調 機 3	型式： 天井カセット シングル型	3	200	2.2	－	4	北棟3階多目的教室	
		能力： 冷房：4.5kW 暖房：5.0kW							




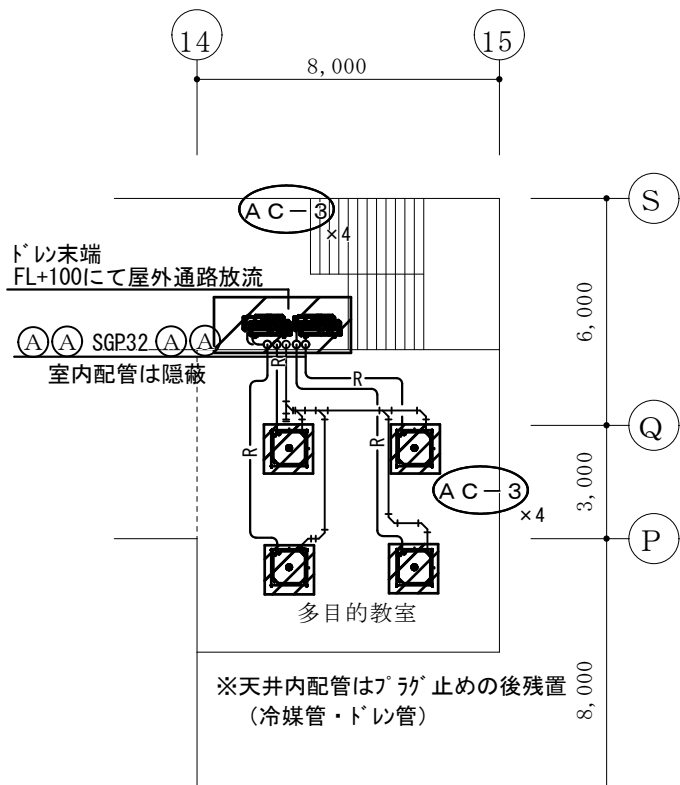
北校舎 1階撤去図 1/200

※  は撤去部を示す。
※天井内配管はﾌﾞﾗｸﾞ止めの後残置
(室内冷媒管のみ隠蔽)




北校舎 2階撤去図 1/200


※  は撤去部を示す。
※天井内配管はﾌﾞﾗｸﾞ止めの後残置
(室内冷媒管のみ隠蔽)



北校舎 3階撤去図 1/200

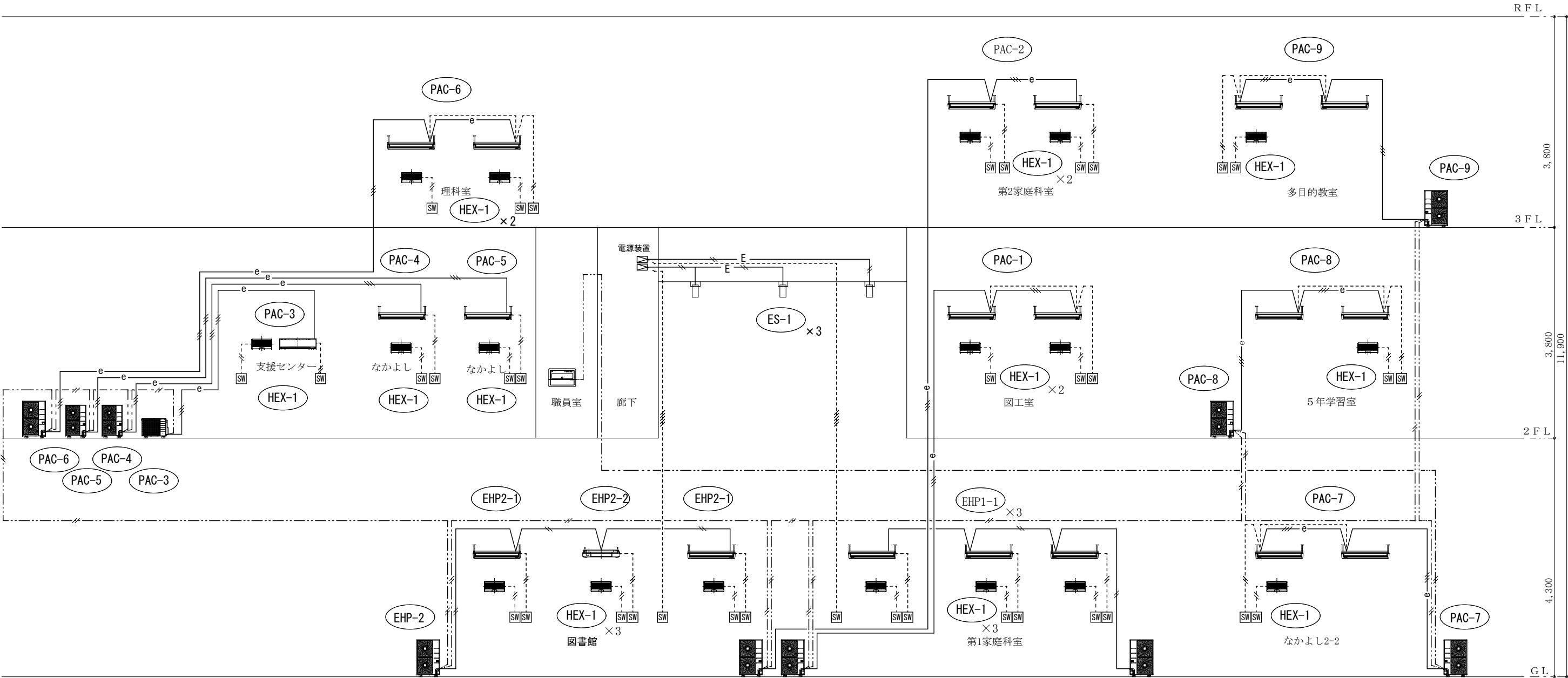
※  は撤去部を示す。

凡 例

(集中コントローラ系統) ----- e	EM-CEE-S1.25□-2C (G16)	連絡配線
(PAC・AC系統) ----- e	EM-CEE-S1-S.25□-3C EM-EEF2.0-3C+E1.6 冷媒共巻	連絡配線 屋内機電源線
(EHP系統) ----- e	EM-CEE-S1-S.25□-2C 冷媒共巻	連絡配線
SW-----	EM-CEE-S1.25□-2C (MM-A)	空調機 リモコン配線 (本工事)
SW-----	EM-CEE-S1.25□-2C (MM-A)	全熱交換器 リモコン配線 (電気工事)
	集中コントローラー	
⊗ PB	ﾌﾟﾙﾍﾞｯｸｽ	

	ES-1用電源装置	
(ES-1系統) ----- E	VVF2.0-2C (HIV16) VVF1.6-2C (HIV16)	連絡配線
SW----- (ES-1系統)	EM-AE-5C (HIV16)	ES-1 リモコン配線

※制御線・電源線仕様は、選定メーカー基準に従う事。



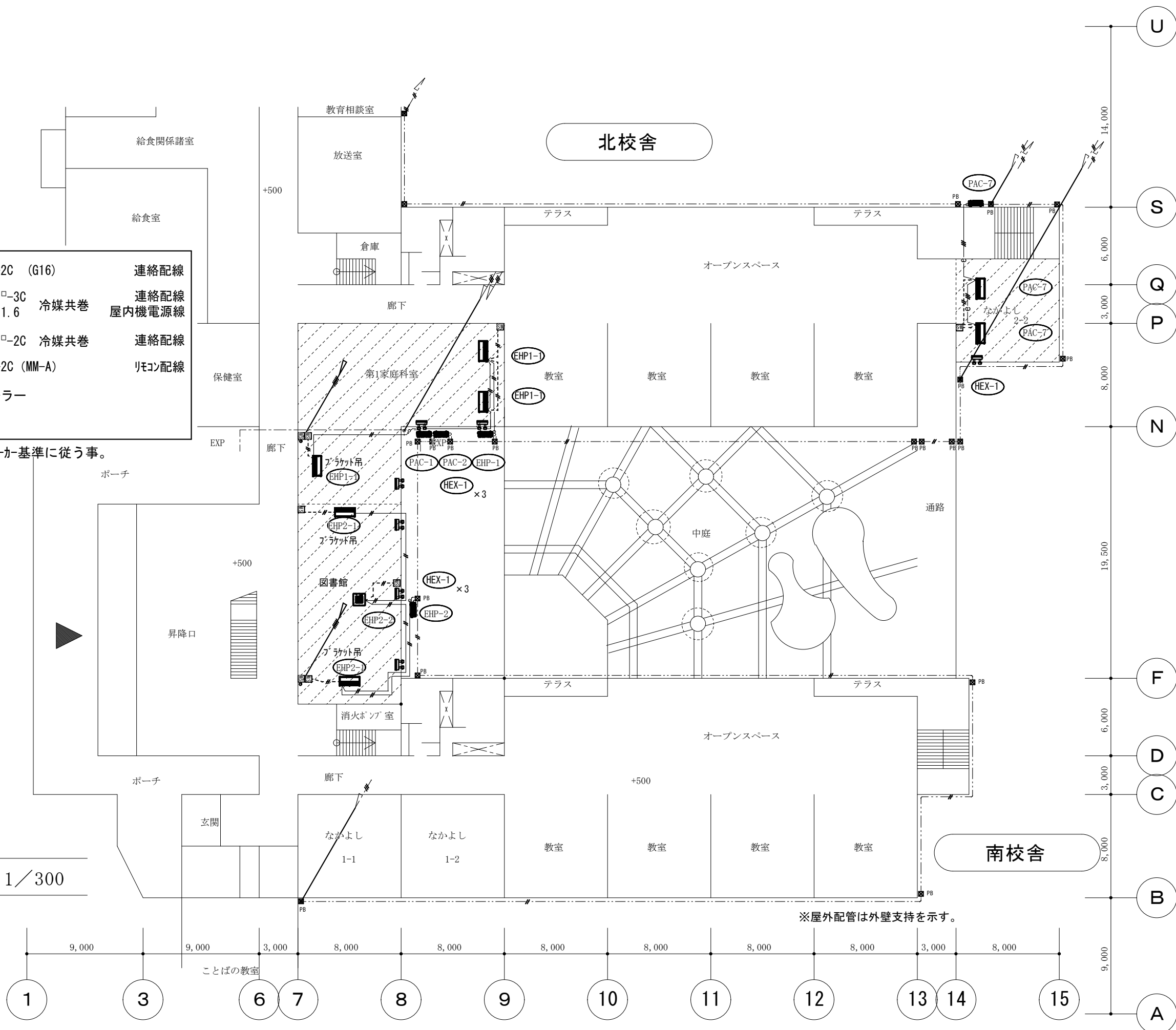
空調計装配線系統図

1階

凡 例		
(集中コントローラー系統)	EM-CEE-S1.25 [□] -2C (G16)	連絡配線
(PAC・AC系統)	EM-CEE-S1-S.25 [□] -3C EM-EEF2.0-3C+E1.6	連絡配線 屋内機電源線
(EHP系統)	EM-CEE-S1-S.25 [□] -2C	連絡配線
SW	EM-CEE-S1.25 [□] -2C (MM-A)	リモコン配線
集中コントローラー		
PB	ブロック	

※制御線・電源線仕様は、選定メーカー基準に従う事。

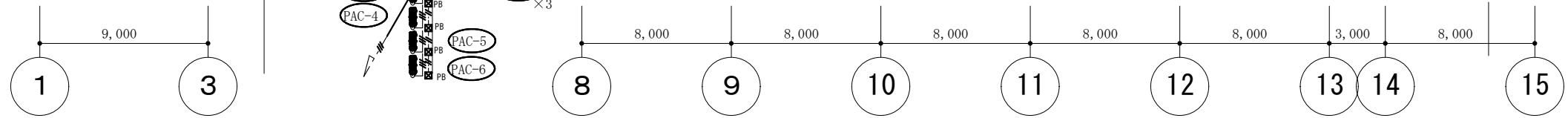
1 階平面図 1/300



国府小学校特別教室等空調設備整備工事	

空調設備 1 階制御平面図		図面番号	M-10
図面	1/300	設計	

2 階平面図 1 / 300



3階

